



第2期金沢区地域福祉保健計画

いきいき金沢・ささえあいプラン



平成23年3月発行

横浜市金沢区福祉保健課

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1 TEL:045-788-7824 FAX:045-784-4600
Eメール: kz-fukuho@city.yokohama.jp http://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/

社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5 TEL:045-788-6080 FAX:045-784-9011
Eメール: info@kanazawa-shakyo.jp http://www.kanazawa-shakyo.jp/

表紙：歌川広重「金沢八景」／神奈川県立金沢文庫 所蔵

はじめに

第1期金沢区地域福祉保健計画策定から5年が経つ中で、高齢者単身世帯数の倍増など少子・高齢化が一段と進んでいます。福祉・保健にかかわる様々な課題については、もはや公的サービスだけでは対応できなくなっており、区民・事業者・行政が一体となって取り組む必要があります。

今回の第2期計画の策定にあたっては、地域での活動を重視し、第1期計画にはなかった「地区別計画」を初めて策定しました。地区の皆様には検討会やフォーラムを開催していただき、区内に住まれている方々自らが地域の課題を抽出し、計画をとりまとめたいただきました。金沢区においても、区社会福祉協議会や地域ケアプラザのスタッフとともに、各地区ごとに「地区支援チーム」を組織し、地域の皆様の取組を支援してきましたが、あらためて地域の皆様にお礼を申し上げます。

地域の支えあいをサポートする「区域計画」と両輪のもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指していきたくと考えております。

この計画は“つくる”ことよりも“進める”ことが重要です。今回の計画に基づき、身近な地域における支えあいの輪が着実に広がることを願っています。区民の皆様には地域活動への積極的な参加をお願いしたいと思います。地域の福祉保健の課題解決に向けて一緒に取り組んでいきましょう。

平成23年3月

横浜市金沢区長 橋本 康正



金沢区社会福祉協議会は、平成18年度から第2次地域福祉活動計画を推進してまいりました。これまで地域の皆様の多大な御尽力、御協力をいただいたおかげで着実な歩みを進めることができ、5か年の計画も区切りを迎えることができます。改めて皆様に感謝申し上げます。

今、社会情勢の急激な変化はこれまで以上にきめ細かい福祉サービスへの期待を生み出しており、身近な地域における支えあいなど、地域福祉を推進する取組は一層必要性が高まっていると言えます。

地域福祉とは「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」という願いを実現することですが、その達成には何よりも「人と人のつながり」を強固にしていくことが不可欠です。この「つながり」を作る様々な活動が望まれているのではないのでしょうか。

平成23年度からの新たな計画は、区の計画と一体化することで内容を充実し、何より地域の皆様が策定された地区別計画を大きな柱とするものです。

できるだけ多くの人々の参加により、この計画が推進されることを願ってやみません。区社会福祉協議会も地域の皆様、関係機関と協働して“いきいき”とした金沢を創るために努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

平成23年3月

社会福祉法人
横浜市金沢区社会福祉協議会会長 増田 一行



目次

第1章 金沢区地域福祉保健計画の改定にあたって

1 計画の概要

- (1) 計画の目的・位置づけ 1
- (2) 改定の対象 2
- (3) 第2期計画期間 2
- (4) 第2期計画の特徴 3

2 計画策定の手順

- (1) 計画策定の体制 4
- (2) 計画策定の経過 5
- (3) 計画策定の方法 9

第2章 第2期金沢区地域福祉保健計画

1 新計画の枠組み

- (1) 区の現況 11
- (2) 地域福祉保健に関する区民ニーズと課題 13
- (3) 計画の構成 17

2 地区別計画

- (1) 富岡第一地区 20
- (2) 富岡第二地区 22
- (3) 富岡第三地区 24
- (4) 富岡西・能見台地区 26
- (5) 能見台地区 28

(6) 金沢シーサイドタウン地区 30

(7) 金沢東部地区 32

(8) 金沢中部地区 34

(9) 金沢南部地区 36

(10) 金沢地区 38

(11) 六浦東地区 40

(12) 六浦地区 42

(13) 六浦西地区 44

(14) 釜利谷地区 46

3 区域計画

(1) 推進目標1：要援護者への支援 50

(2) 推進目標2：関係情報の発信・共有の推進 52

(3) 推進目標3：関係団体・機関との連携強化 54

(4) 推進目標4：活動の機会等の促進 56

(5) 推進目標5：人材の発掘・育成 58

第3章 計画の推進に向けて

(1) 計画推進の仕組み 60

(2) 計画の進行管理 60

資料

1 14地区の紹介 65

2 アンケート調査結果 79

3 金沢区地域福祉保健推進会議委員等名簿 86

1 計画の概要

(1) 計画の目的・位置づけ

地域福祉保健計画とは

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、住民同士の支えあいを柱として、地域の福祉保健に関する課題解決に向け、区民・事業者・行政が協働で取り組んでいくための計画です。

地域福祉保健計画はどうして必要なの？

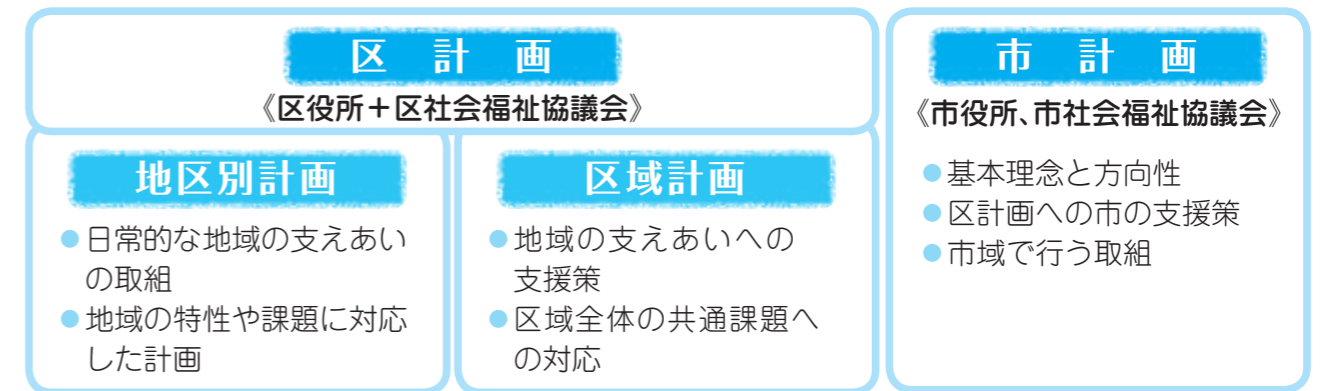


急速な少子・高齢化の進行や、隣近所の関係の希薄化に伴い、地域で暮らしている高齢者・子ども・障害のある人の福祉保健に関する課題は多様化しており、公的なサービスだけでは必ずしも解決できないことがあります。

地域における「つながり」や「支えあい」が重要になってきており、地域に住む方や活動している方と一緒に考えて、取り組んでいくための計画づくりが必要とされています。

「市計画」・「区計画」の概念図

金沢区地域福祉保健計画は、「地区別計画」、「区域計画」を主な構成要素としています。



(2) 改定の対象

「第1期 金沢区地域福祉保健計画」と「第2次 金沢区地域福祉活動計画」は、相互に補完、連携、役割分担をして地域福祉を推進してきました。

現行の2つの計画の十分な振り返り、区民のニーズに基づき、継続する取組、新たな取組などをまとめています。

「第1期 金沢区地域福祉保健計画（区役所）」 （平成18～22年度）について

【理念】

地域社会で誰もが幸せに生きる

【重点テーマ】

- I 保健・福祉のコミュニティづくり
- II 心とからだの健康づくり
- III 情報提供と相談の体制づくり
- IV ネットワークの活性化
- V 人材(財)の育成



「第2次 金沢区地域福祉活動計画（区社会福祉協議会）」 （平成18～22年度）について

【理念】

安心して暮らせる支えあいの街・金沢

【重点目標】

- I 日常的な支え合いの関係づくりの促進
- II 当事者の自立と社会参加の支援
- III 福祉サービス利用者の権利擁護の推進
- IV 地域福祉推進機能の充実



(3) 第2期計画期間

平成23年度～平成27年度

(4) 第2期計画の特徴

ア 計画の一体化

区役所の「金沢区地域福祉保健計画」と区社会福祉協議会の「金沢区地域福祉活動計画」を一体化し、関係機関が連携・協働して、区民の「支えあい」を中心に地域の福祉保健活動を推進します。



	H8～17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区役所		第1期 地域福祉保健計画					第2期 地域福祉保健計画 (一体的に推進)				
区社会福祉協議会	第1次 地域福祉活動計画	第2次 地域福祉活動計画									

※市全体の計画である第2期横浜市地域福祉保健計画は、平成21年度から25年度までの5か年を計画期間としています。

イ 「地区別計画」の策定

地域ごとの特性や課題に対応し、地域が主体的に取り組むために、連合町内会エリアを単位とした14地区において、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、自治会・町内会関係者等が協議してとりまとめました。

「地区別計画」は、区社会福祉協議会の計画では策定されていましたが、区の計画では初めて策定します。



私たちが住んでいる町の福祉保健について考えている私たちが主役の計画なんだね！



2 計画策定の手順

(1) 計画策定の体制

ア 地区検討会（14 地区）

<メンバー>

連合町内会エリアを単位とした、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、自治会・町内会等の各種団体、福祉保健活動に関わっている方 10～30 人程度



六浦東・六浦・六浦西地区合同フォーラム

<役割>

- ◆区社会福祉協議会が策定した現行の「地区計画」の振り返りと新しい「地区別計画」の検討及びまとめ
- ◆地区の住民参加によるフォーラムの開催
地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の職員による「地区支援チーム」※が参加支援

※地区支援チームについて

地域の福祉保健に関する取組について、住民が主体となって推進していけるよう関係機関がチームを組んで支援する体制を整えました。

<メンバー>

- 統括：区福祉保健センター課長級職員
- チームリーダー：区福祉保健センター係長級職員
- チームメンバー：地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、
区福祉保健センター担当職員

イ 区地域福祉保健計画推進プロジェクト

<メンバー>

区社会福祉協議会・区役所の部課長級職員 13 人

<役割>

- ◆地域の支えあいへの支援策、区域全体の共通課題への対応のための「区域計画」や新しい計画の枠組みなどの検討
- ◆区役所係長級職員 15 人で構成する作業部会において、検討のための資料の作成

ウ 区地域福祉保健推進会議

(ア) 区地域福祉保健推進会議

<委員>

福祉関係団体の代表者、保健・医療関係団体の代表者など

<役割>

- ◆地域福祉保健計画推進部会からの検討経過や区計画原案の報告を審議



(イ) 地域福祉保健計画推進部会

<委員>

福祉保健活動を行う者、医療・保健関係者、社会福祉関係施設の職員、金沢区民、学識経験者など

<役割>

- ◆現行計画に示された目標の達成状況の把握及び点検
- ◆各「地区別計画」案を審議、「区域計画」に必要な事項を検討・整理し、両者を合わせて区計画原案をとりまとめ

(2) 計画策定の経過

ア 地区ごとの検討

検討会・フォーラム等を開催し、現行計画の振り返りと新しい計画の検討を行ってきました。

平成 21 年 10 月～平成 22 年 10 月に検討会を概ね 3 回開催しました。また、広く地域住民にも呼びかけ、それぞれフォーラムを概ね 1 回開催しました。

【主な意見等】（詳細は 16 ページ参照）

- ◆高齢者、障害者、子どもなどへの日常的な支援〔14 地区〕
- ◆高齢者、障害者などへの災害時の支援〔9 地区〕
- ◆地域資源・情報の周知・共有（効果的な P R、情報の発信）〔12 地区〕
- ◆地区の個人情報の把握（情報共有）〔7 地区〕
- ◆活動スペースの確保〔5 地区〕
- ◆地区活動への支援（ボランティア団体など）〔7 地区〕
- ◆次世代の担い手の育成〔9 地区〕

イ アンケートの実施（調査結果は79ページ参照）

地域の福祉保健活動に関するアンケート

◆民生委員・児童委員、保健活動推進員向け

- 調査期間：平成21年11月上旬～11月下旬
- 配布数：553
- 回答数：333（回答率＝60.22%）

◆関係団体代表者向け

- 調査期間：平成21年11月中旬～12月上旬
- 配布数：233
- 回答数：126（回答率＝54.08%）

◆主な設問項目

- 区地域福祉保健計画の認知度
- 福祉保健に関して必要な情報
- 地域にある課題と問題
- 地域の支えあいを推進していくために重要なこと

なお、「金沢区民意識調査2009」（平成21年10月～11月）の中でも関連項目としてアンケートを実施しました。

ウ 区地域福祉保健計画推進プロジェクトにおける検討

地域の支えあいへの支援策、区域全体の共通課題への対応のための「区域計画」や新しい計画の枠組みなどを検討しました。

【推進プロジェクト（メンバー：区社会福祉協議会・区役所の部課長級職員13人）】

◆平成21年12月3日開催

議題：区地域福祉保健計画等の改定と今後の進め方について など
▶改定の要領について確認しました。

◆平成22年3月25日開催

議題：地区支援チーム・検討会・フォーラムの進捗状況 など
▶検討会やアンケートによるニーズを把握し、第1期計画の振り返りと次期方針の対応、新規取組の検討を確認しました。

◆平成22年4月30日開催

議題：計画の見直し、枠組みの再構築について など
▶計画の枠組みを了承。次期計画に掲載する取組については、今後検討していくことを確認しました。

◆平成22年5月24日開催

議題：計画改定の基本的枠組み、改定の方針 など
▶改定の方針を了承し、推進部会に諮っていくことを確認しました。

◆平成22年7月26日開催

議題：計画策定スケジュール、計画の構成について など
▶計画策定スケジュールを確認し、計画の構成について検討しました。

◆平成22年10月18日開催

議題：策定作業の経過と今後の予定、計画（素案）及び同概要版、計画の愛称について など
▶計画（素案）及び同概要版を了承し、推進部会に諮っていくことを確認しました。

※この間、作業部会（メンバー：区役所の係長級職員15人）も6回開催しました。
平成21年5月15日、12月21日、平成22年1月27日、3月10日、4月21日、8月31日開催

エ 区地域福祉保健推進会議における主な審議

◆平成22年6月4日推進部会開催

議題：計画改定の枠組みについて
計画改定作業の経過について
計画改定の方針について など
▶計画改定に向けて、全体的に着実に進捗していると評価しました。
基本的枠組み、方針が了承されました。

◆平成22年6月24日推進会議開催

議題：第2期金沢区地域福祉保健計画の策定について
▶地域福祉保健計画推進部会からの検討経過や区計画原案の報告を審議しました。

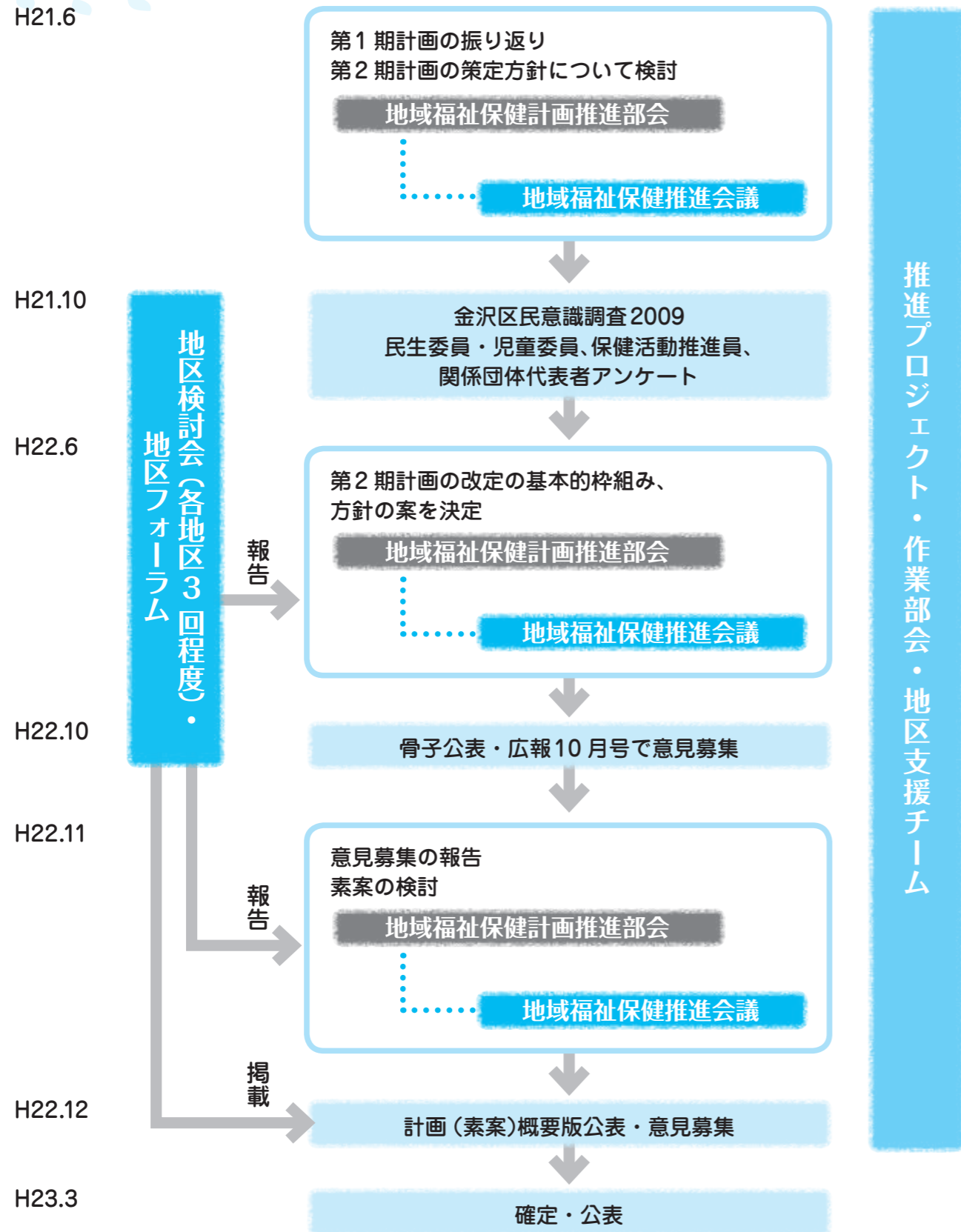
◆平成22年11月12日推進部会開催

議題：計画（素案）について
計画（素案）概要版について
計画の愛称について
▶計画（素案）及び同概要版が了承されました。

◆平成22年11月18日推進会議

議題：金沢区地域福祉保健計画の改定に向けて
▶地域福祉保健計画推進部会からの報告を審議しました。
計画（素案）及び同概要版が了承され、計画の愛称が決定しました。

計画策定の経過



(3) 計画策定の方法

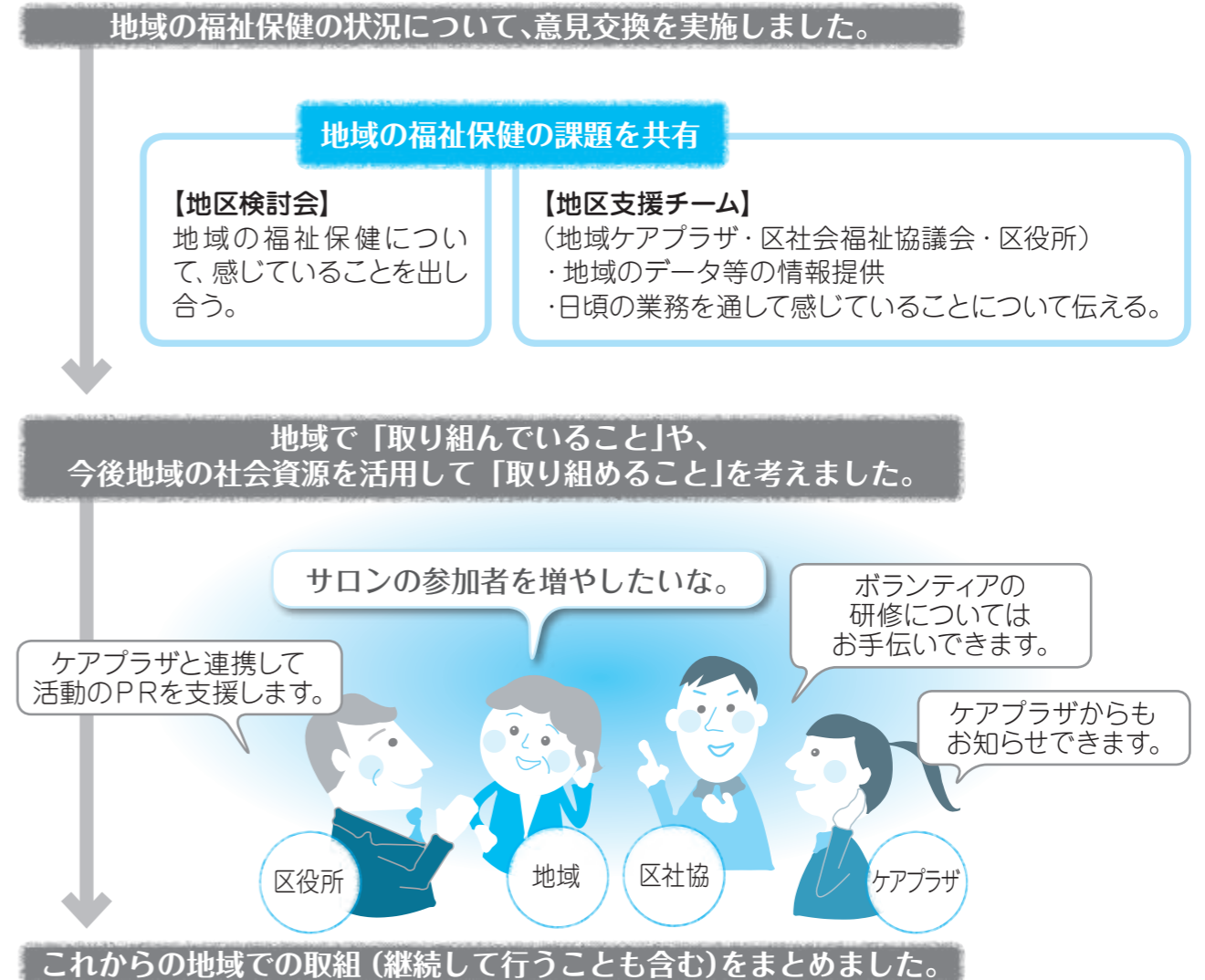
ア 地区別計画

「地区検討会」において、区社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」に盛り込まれている各「地区計画」を振り返り、必要な改定を加えています。
※第1期の区計画で作成した各地区の「道しるべ」は、長期的な地区の行動指針であり、見直しの対象とはなりません。

手順

- 地区の現況について話し合いをしました。
- 地区ごとにある特性をどのようにカバーし合えるかを検討しました。
- 平成18年度～22年度 of 取組について、振り返りを行いました。
- フォーラム等を開催し、広く地域の意見を集めました。
- 取組について、継続、終了、新規実施等を検討し、担い手を確認しました。
- 地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所は、地域の取組に対しどのような支援ができるか検討しました。

地区別計画策定のプロセス例



第2期 金沢区地域福祉保健計画

イ 区域計画

「区地域福祉保健計画推進プロジェクト」において原案を作成し、「区地域福祉保健計画推進部会」、「区地域福祉保健推進会議」で審議、とりまとめています。

手順

- アンケート、地区検討会によりニーズと課題を把握しました。
- 第1期地域福祉保健計画(平成18年度～22年度)の各取組の振り返りを行い、今後の対応を「継続、変更、関連取組、除外、終了」に振り分けました。

継続 継続していく取組

(例) 「地域における支えあいネットワークの充実」
「障害児者社会参加活動支援」など

変更 取組の内容の一部変更、他の取組との統合・再編など

(例) 「ケアマネジャー等の支援」「子育て支援の推進」など

関連取組 計画上目標とするに及ばない内容の取組など

(例) 「生活衛生に関する講習会」「人権講演会」など

除外 本計画の対象としてあまり適合しない取組

(例) 「生涯学習支援センター運営事業」
「旧川合玉堂別邸及び園庭緑地保全活用事業」など

終了 既に取り組を終了したもの

(例) 「精神障害者地域生活支援拠点整備促進事業」
※ 精神障害者生活支援センター「愛&あい」開所(18年度)
「地域子育て支援拠点の整備」
※ 地域子育て支援拠点「とことこ」開所(19年度)など

・地域のニーズを検証し、地域での活動では十分に対処できない課題や区域全体の課題に対して、新たに掲載する取組として区域計画に反映していきます。

◆新規に実施する取組

(例) 「地域の商店や企業との協働推進」
「災害時要援護者支援」など

◆現行計画期間中に実施を始めているが、新たに計画に掲載する取組

(例) 「認知症の理解促進」
「各地域の状況に合わせたボランティア育成研修」など

◆現行計画の取組を再編・統合

(例) 「子育て支援の推進」
「インターネット等を活用した情報提供」など

1 新計画の枠組み

(1) 区の現況

ア 地勢とまちの環境

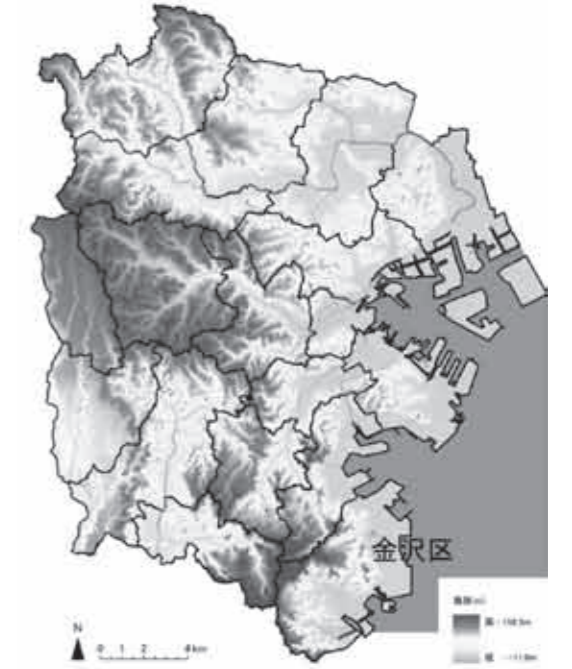
金沢区は横浜市の最南部の臨海域に位置し、周囲を海と山に囲まれています。そしてその自然環境は、市内最高標高の円海山系から市内唯一の自然海岸を有する野島まで、多様で豊かな様相を見せています。

市街地は、概ね100m前後の主尾根の裾に展開する複雑に入り組んだ丘陵部と、かつての入り海と沿岸部を埋め立てた平坦な地域から成っています。

金沢の地は古来より交通の要所として、また、「金沢八景」をはじめ、風光明媚な地として栄えてきました。

さらに、鎌倉文化を現代に伝える県立金沢文庫、称名寺に代表される歴史・文化的風土、金沢地先埋立地の臨海地区に形成された産業団地、海の公園や金沢動物園などの観光レクリエーション拠点としてなど、多くの顔を持つ都市としての役割を担ってきています。横浜市立大学と関東学院大学の立地によって、学園都市としてのおもむきも備えています。

昭和30年代後半からは大規模な宅地開発が行われるようになり、ベッドタウンとしても発展してきました。その結果、古くからの市街地地区、戸建て団地地区、高層集合住宅地区など多彩な街並みからなる住宅市街地が連なっています。



横浜市の地形と金沢区の位置
(出典：横浜市緑と水の基本計画)



金沢区の街並み (出典：金沢区統計要覧2009-2010)



金沢区の木「山桜」と花「牡丹」シンボルマーク

イ 居住人口と動向

◆減少傾向に転ずる総人口

平成に入って漸増から横ばいとなった金沢区の総人口は、すでに減少傾向に転じ、横浜市の将来人口推計によると、平成37年には再び20万人を切るものと予測されています。

◆減少を続ける世帯人員

総世帯数は一定の増加を続けていますので、世帯あたりの人員減少の傾向は強まっています。これは核家族化、少子化、単身世帯などの少人数世帯の増加が原因と考えられます。

◆20歳代後半から30歳代前半の減少

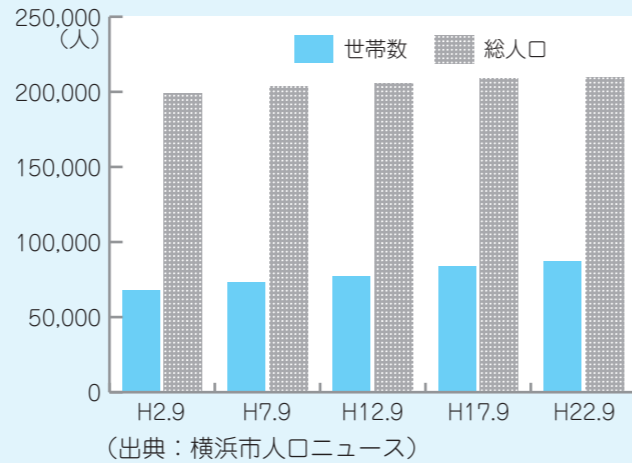
年齢を5歳ごとに区分した人口について、この5年間の変化を見ると、若年層と高齢層がほぼそのまま年齢を重ねているのに対して、生産年齢人口(15～64歳)の内、特に20歳代後半から30歳代前半にかけて10%以上人口が減っています。

◆上がる一方の高齢化率

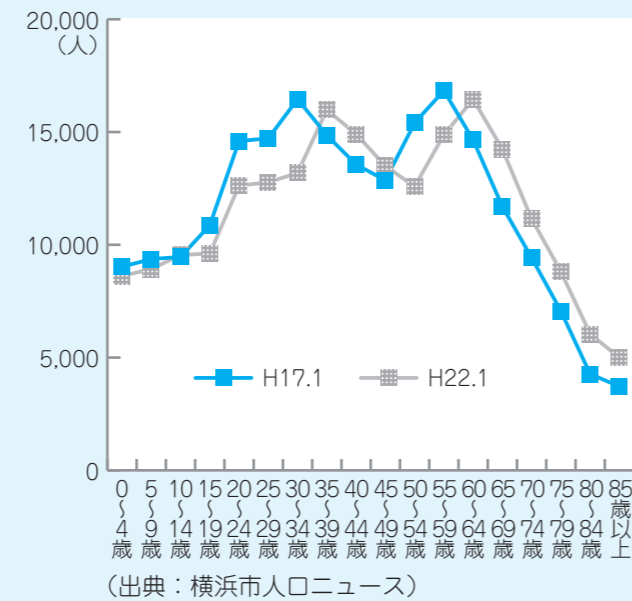
その結果、現在21%台の高齢化率(65歳以上の割合)は、今後とも上がり続け、平成37年には30%を突破すると予測されています。



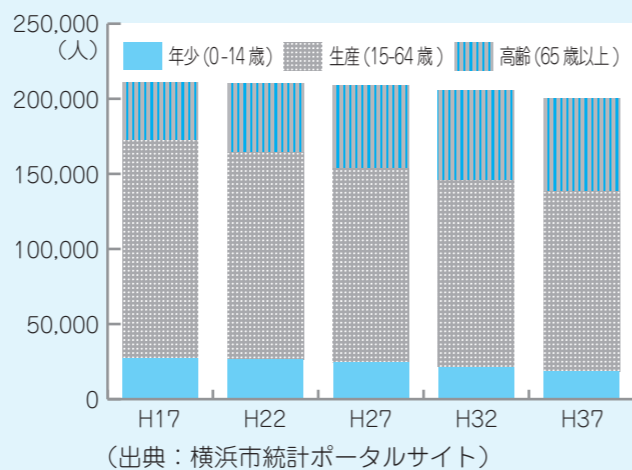
金沢区の世帯数と人口の変化



金沢区の5歳階級別人口構成と変化



金沢区の将来人口推計



(2) 地域福祉保健に関する区民ニーズと課題

ア ニーズと課題の抽出方法

次に掲げるアンケート結果や地区ごとの検討会・フォーラム等を通じた意見から、地域福祉保健に関する区民ニーズを把握し、地域福祉保健を充実する上での課題を抽出しました。

- 2009年度「金沢区民意識調査」
(* 2005年度「区民アンケート」(金沢区福祉保健課)と回答比較を行い、最近の傾向も導きました。)
- 2009年度「地域の福祉保健活動に関するアンケート」
- 地区ごとの検討会・フォーラム等で出された意見(*詳細は、16ページを参照)

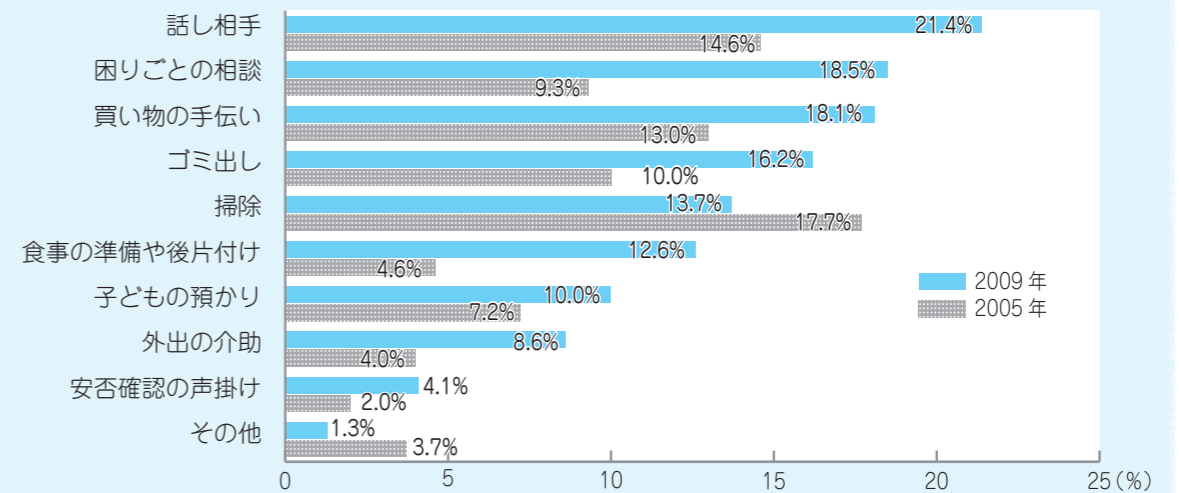
イ 地域福祉保健を充実するための区民ニーズと課題

◆地域での助け合いの必要性和意識の高まり

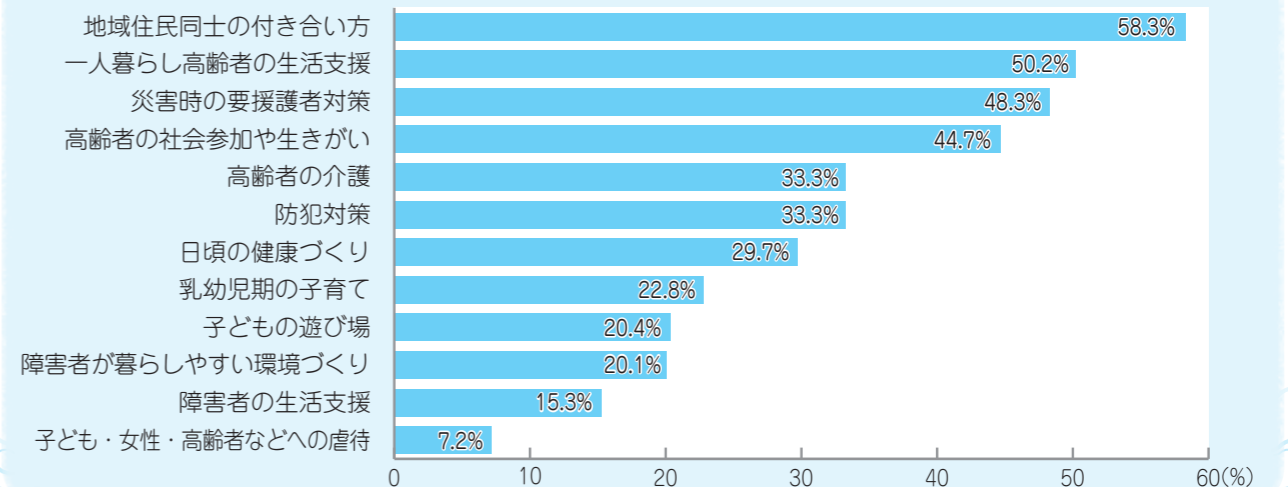
「地域やご近所で助けたり助けられたりした経験」は多くの項目で確実に増加しています。特に「困りごとの相談」、「食事の準備や後片付け」、「外出の介助」については倍増しています。このことは、身近な地域での助け合いの必要性和意識の高まりを示すものと考えられます。

一方で「日々の活動で地域にある課題や問題」の第1位として、「地域住民同士の付き合い方」が選ばれていることは、現在の地域社会におけるコミュニケーションの難しさを示しています。

地域やご近所で助けたり助けられたりした経験 (出典：区民意識調査2009、区民アンケート2005)



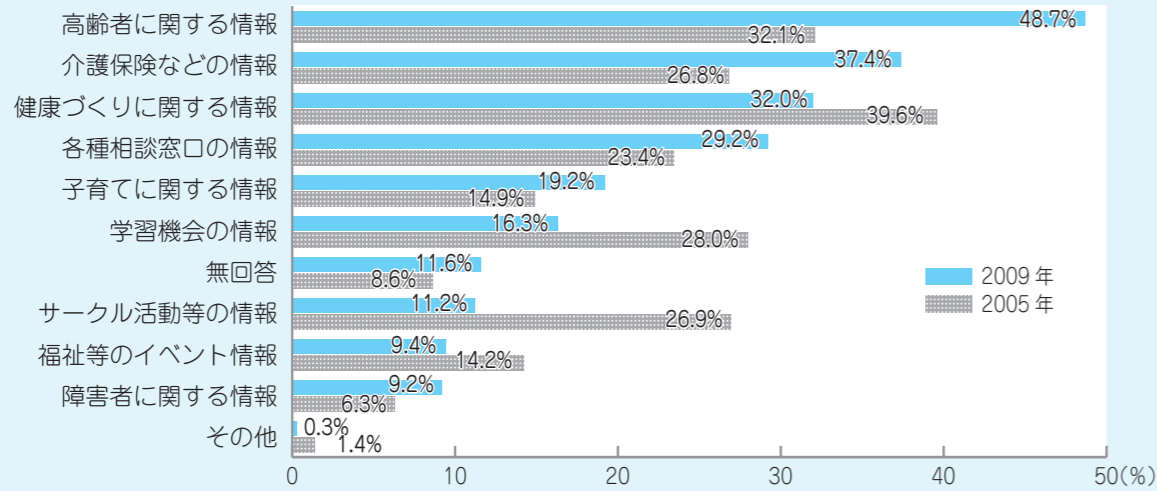
日々の活動で地域にある課題や問題 (出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート)



◆日常的な支援

「福祉保健に関して知りたいと思う情報」の第1位は「高齢者に関する情報」です。地区検討会・フォーラム等の場においても、14地区で同様の意見が出されています。子どもや子育て世帯、障害者への支援に関する項目は、いずれのアンケートでも中位以下になっていますが、当事者数の比率から考えると、切実なニーズが存在するものと考えられます。

福祉保健に関して知りたいと思う情報（出典：区民意識調査2009、区民アンケート2005）



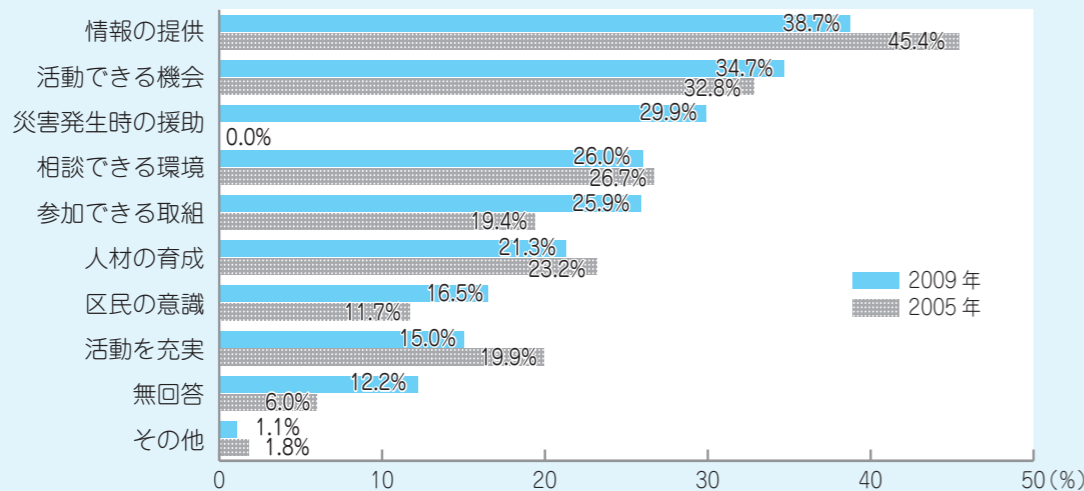
◆災害時要援護者への支援

災害時における要援護者への支援の必要性は、全ての調査で上位に位置しています。地区検討会・フォーラム等の場においても、9地区で災害時要援護者に対する支援の必要性を求める意見が出されています。

◆地域情報の把握と効果的な提供

「地域の支えあいのために重要と思うこと」の第1位は「情報の提供」です。地区検討会・フォーラム等の場においても、12地区で地域資源・情報の周知・共有の大切さにかかわる意見が出されています。特に、地域における個人情報の把握が重要であると指摘されています。

地域の支えあいのために重要と思うこと（出典：区民意識調査2009、区民アンケート2005）

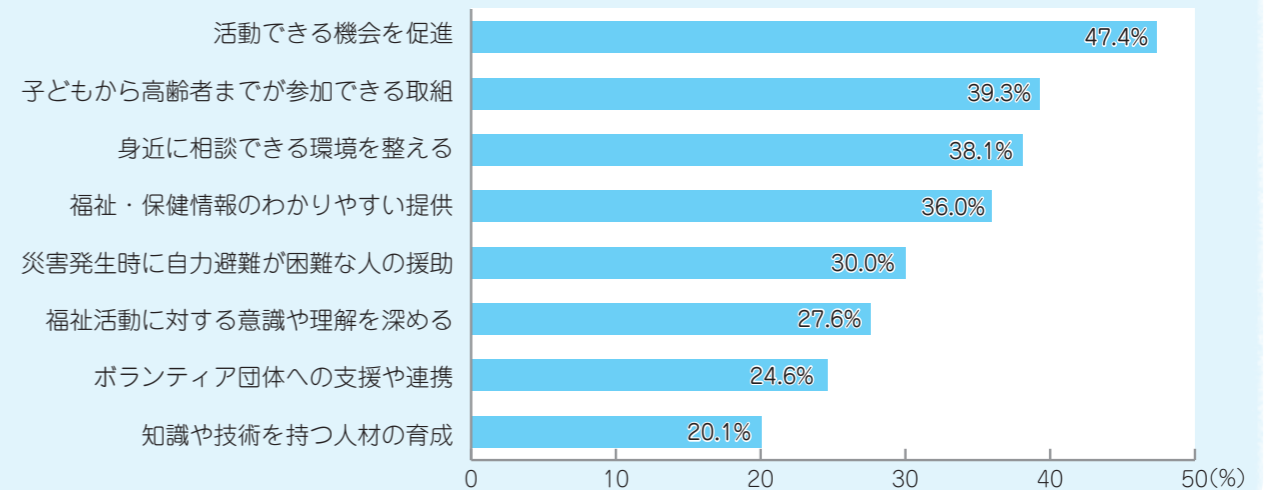


◆地域活動ができる機会と場の提供

地域活動への参加意識は確実に高まっていることが考えられますが、一方で、「活動できる機会を促進」する項目が「地域の支えあい推進に重要なこと」の第1位となっています。また、「参加できる取組」を求める回答が第2位となっています。

地域活動の機会を増やす一方策ともなるであろう「活動スペースの確保」は、5地区から意見が上がっています。

地域の支えあい推進に重要なこと（出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート）



◆担い手の確保と支援

地区検討会・フォーラム等からの意見として目立っているのが、「次世代の担い手の育成」(9地区)と「ボランティア団体など地区活動への支援」(7地区)です。



地区検討会・フォーラム等で出された主な意見

① 高齢者、障害者、子どもなどへの日常的な支援〔14地区〕

- 高齢単身者が出てもらえるような身近なサロンを作りたい。
- 講座の開催など、障害への理解を進めていくための活動をする。
- 子育てサロンは、親同士で話せるとても良い集まりになっている。

② 高齢者、障害者などへの災害時の支援〔9地区〕

- 災害時の要援護者の把握をどうしていくのか。
- 高齢単身者の緊急時の連絡先等の確認が必要。
- 災害時に、近隣で助け合えるようになれば良い。

③ 地域資源・情報の周知・共有(効果的なPR、情報の発信)〔12地区〕

- 行事も含めた様々な情報を地域の人たちに伝達していく仕組みが必要。
- 福祉の関係団体と関係施設とネットワークを作り、地域福祉に関する情報の共有化を図る。
- 地域の活動は知られていない。もっとPRを。

④ 地区の個人情報の把握(情報共有)〔7地区〕

- 普段顔が見えない人、事情により動けない人を把握することが重要。
- 近隣の情報を把握しているキーパーソンがいることが重要。
- 個人情報の問題があり、一歩踏み込めない現状がある。

⑤ 活動スペースの確保〔5地区〕

- 山坂が多く集まれない。サロンがもう一か所くらいあると良い。
- 誰もが集まりやすい場所づくりに取り組みたい。
- 孤独死を防ぐためにも安否確認ができる高齢者同士が集える場が欲しい。

⑥ 地区活動への支援(ボランティア団体など)〔7地区〕

- 地区社会福祉協議会としてボランティアとどのような交流会を実施するか。
- 地域を支える人材、組織の連携を図る必要がある。

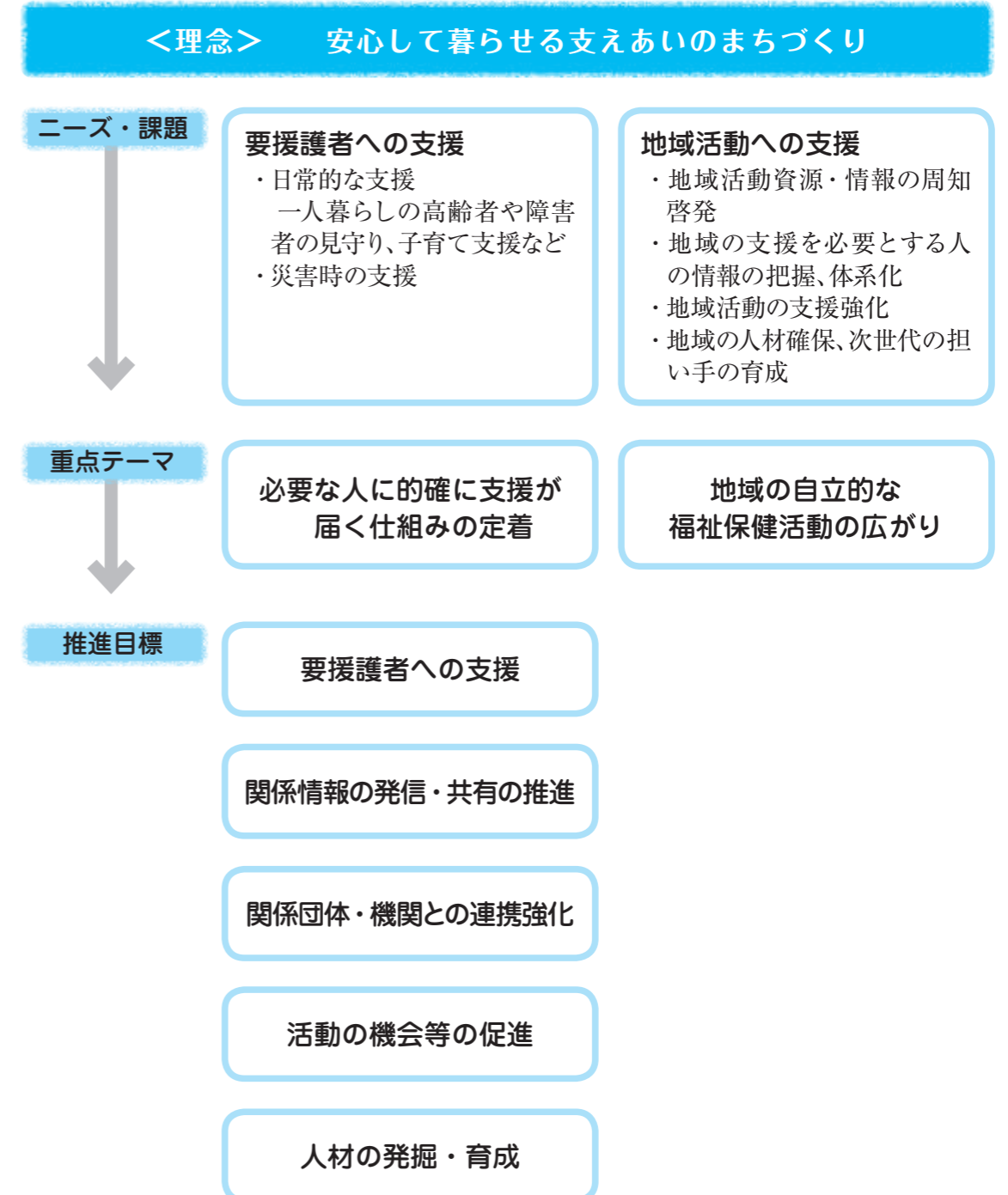
⑦ 次世代の担い手の育成〔9地区〕

- 活動を継続していくために、新たな人材確保、育成が重要。
- 若い世代が興味を持つ活動を行い、ボランティアへの一歩が踏み出せるようにする。
- 人材発掘と活躍の場を設定するべき。

(3) 計画の構成

ア 計画の骨格

第2期計画では、ニーズ・課題から、次のとおり理念、重点テーマ、推進目標をとりまとめています。



イ 地区別計画

「地区別計画」は、連合町内会エリアを単位とした14地区において、地区検討会・フォーラム等が出された意見により、地区の課題に対し地域の方が自ら案をとりまとめたものです。

ウ 区域計画

「区域計画」は、地区では解決できない課題や地区を越えた又は区域全体の共通課題に対し、地域、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所の取組についてとりまとめたものです。

エ 進行管理

「推進プロジェクト」が「地区別計画」と「区域計画」を合わせて計画の進行管理を行い、必要な調整や新たな課題への対応を行いながら、「金沢区地域福祉保健推進会議地域福祉保健計画推進部会」、「金沢区地域福祉保健推進会議」へ報告を行います。

2 地区別計画

- (1) 富岡第一地区
- (2) 富岡第二地区
- (3) 富岡第三地区
- (4) 富岡西・能見台地区
- (5) 能見台地区
- (6) 金沢シーサイドタウン地区
- (7) 金沢東部地区
- (8) 金沢中部地区
- (9) 金沢南部地区
- (10) 金沢地区
- (11) 六浦東地区
- (12) 六浦地区
- (13) 六浦西地区
- (14) 釜利谷地区



キャッチフレーズ

みんなの顔が見える街

目標・取組



世代を超えて気楽に交流しあえる地域づくり

※「お元気サロン」の開催

地区の誰でも参加できる交流の場としてのサロンを実施します。コーヒーやお菓子が好評。また囲碁・将棋などのゲームも楽しめます。

※世代間交流イベントの開催

いろいろな世代の方が交流でき、家族ぐるみで参加できるイベントを実施します。

- もちつき大会 ●ふれあい夏祭り
- 運動会 ●みかん狩り



みかん狩り▶

子どもを見守る地域づくり

※「お元気スクスク」の開催

0～2歳までの子育て中の親子を対象にフリースペースを実施します。参加親子の自由な交流のほか、毎月の誕生会、絵本の読み聞かせや季節のお楽しみ行事なども行います。

※「社会を明るくする大会」の開催

「社会を明るくする大会」を開催し、青少年の健全な育成を図ります。

※子育てグループの支援

子育てボランティアグループに助成金の支援を行います。



▲お元気スクスク

安全で安心できる街づくり

お元気ですか？

高齢者の方々を対象に地域での支え合い事業を行います。

※「お元気ですかコール」

地域の高齢者に、民生委員・児童委員が安否確認の電話かけを行います。

※「お元気ボランティア」

民生委員・児童委員が窓口となり、お困りの高齢者に家事援助等のボランティアを派遣します。

※「ふれあい昼食会」「お元気弁当」

一人暮らしの高齢者をひな祭りの頃に招待し、昼食会を開催します。年に2回、お弁当の配食も行います。

※ゲートボール大会・グランドゴルフ大会の支援

老人会主催のゲートボール大会、グランドゴルフ大会に助成金の支援を行います。

※災害時要援護者避難支援事業

高齢者や障がいのある方に、災害時に避難の支援をして身の安全を守れる体制作りを目指します。



▲ふれあい昼食会

きれいな街づくり

※富岡公園の清掃

富岡公園の清掃を月1回行います。

※バス停の清掃

鳥見塚バス停の周りと地下通路の清掃を毎週行います。



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となった地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地区の活動が継続されるよう、新たな人材確保・育成に取り組みます。また、地区社協と連携し、各種講座や催し物を開催します。

区社会福祉協議会

住民相互の関係を深める活動の充実・強化と担い手の育成を図り、支えあいの仕組みづくりを関係施設・機関と連携して支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

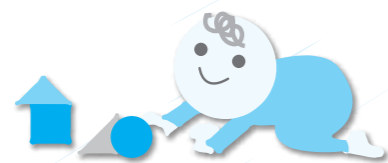
キャッチフレーズ

広げよう！笑顔であいさつ近所の輪

目標・取組

健やかな子ども、青少年を育てます

- 0歳から就学前までの子育て中の親子を対象に月1回町内会館でフリースペース“ころころ”を開催します。



いろいろな行事を通じ、地域の連携を作っていきます

- 秋に自治会町内会の誰もが参加できる運動会を開催します。



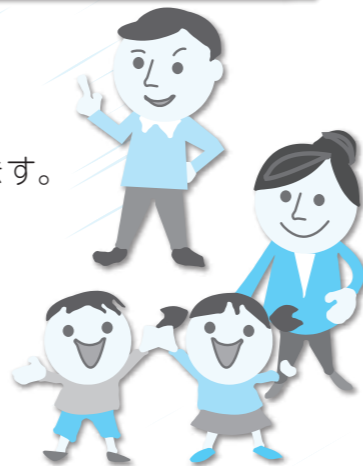
- 家族ぐるみで参加できるボウリング大会を開催します。



- 自治会町内会の誰もが参加できるもちつき大会を開催します。



- 富岡の歴史を学ぶ講習会を開催します。



地域で健康づくりを進めます

- 月1回町内会館で講師を招き、楽しく歌います。(ゆりかご)



- 金沢区転倒骨折予防体操「かもめ体操」を広めることで高齢者の健康増進を図ります。

顔の見えるまちづくりを進めます

- ひとり暮らし高齢者世帯等への見守り訪問や昼食会・配食を実施します。
- 災害時に備えたひとり暮らし高齢者を含む要援護者への支援体制を図ります。



地域の活動が皆の目にとまるよう、広報の仕方を工夫します

- 地区社協広報紙「みんなの輪」を発行します。



※地区検討会やフォーラムで出された意見をもとに地区別計画をたてました。

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域住民による福祉保健活動を支援し、困った時にすぐ相談相手となるような関係を築いていきます。また、ケアプラザの周知活動をもっと行います。

区社会福祉協議会

住民相互の関係を深める活動の充実・強化を図り、地区内の課題を解決するための仕組みづくりを関係施設・機関と連携して支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

すすめよう！ 誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり

目標・取組

高齢者が安心して楽しく過ごせるまちづくり

- 町内会の役員やボランティアが定期的に訪問し、高齢者の見守り体制をつくります。
- 高齢世帯にお弁当を配るなど、配食サービスを実施します。
- 地域の高齢者が参加できる場を充実します。
- 災害時に向けた見守り体制をつくります。



地域ぐるみで子育てできるまちづくり

- 乳幼児世帯の見守りや交流の場を開催し、子育て世代を応援します。
- 小中学校と連携し、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を進めます。
- 「社会を明るくする運動」の地区大会を開催して、青少年の健全育成を図ります。

障がい者にやさしいまちづくり

- 地域の障がい者に、祭りなど地域のイベントへの参加を働きかけます。
- リハビリ教室の開催など中途障がい者の活動を支援します。



異世代交流が活発なまちづくり

- 家族や地域ぐるみで参加できるイベントを企画します。
- 子どもと高齢者が一緒に集える交流の場づくりを進めます。
- 地区の交流を通じて健康づくりを進めます。



安心・安全に暮らせるまちづくり

- 地区内の防犯パトロール体制を強化します。
- 地域の防災意識の向上を図ります。
- 地域の交通安全の意識を高めます。
- 地区内の消防パトロールを実施します。



人材育成・情報発信できるまちづくり

- 地区内のさまざまな活動充実のために人材を確保し、育成していきます。
- 地区の活動紹介など積極的に情報提供を行います。

地区社協だより「ひだまり」▶



地区の行事・活動



- ひとり暮らし高齢者昼食会
- 高齢者配食サービス
- 社会を明るくする運動地区大会
- 社会を明るくする運動ミニ集会
- 地域ぐるみのバーベキュー大会
- みかん狩り
- ハイキング
- スポーツフェスティバル
- 富岡すくすく広場



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域と連携した高齢者や子育て世帯の見守り、健康づくりや交流の場を推進します。安心・安全に暮らせるまちづくりへ向けた地域の取組へのサポートとして、地区の活動紹介や担い手の確保に努めます。

区社会福祉協議会

小地域単位(町内会自治会エリア)の活動の充実・強化と、地域ケアプラザを中心として取り組む地区単位の活動を関係団体・機関と連携して支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

心地よく暮らせる街 富岡西・能見台

～明日が待ち遠しい街～



目標・取組

地域の福祉に関する情報の共有化を進める

福祉の関係団体と関係施設とのネットワークをつくりまします。

- 地域の団体が中心となり、各福祉施設との連絡会を定期的に開催します。



安全・安心な街づくりを進める

安全・安心な街づくりのための運動を実施します。

- 交番と連携して防犯パトロールを実施します。
- 防災訓練を引き続き実施します。
- 災害時要援護者の避難体制を検討します。



高齢者が安心して住みなれた地域で暮らせる街づくりを進める

一人暮らしの高齢者への地域による見守り等の支援に取り組みまします。

- ボランティアによる高齢者施設でのふれあい広場を開催します。
- 老人クラブによる趣味の会を開催します。



健康で過ごせる街づくりを進める

子どもから高齢者まで、心と身体の健康づくりに取り組みまします。

- 離乳食講座を開催します。
- 健康づくり講座や「かもめ講座」を実施します。



美しい街づくりを進める

住民が協力して生活環境を守る活動に取り組みまします。

- 公園の清掃や花壇の管理を行います。



駅前から誇れる街づくりを進める

駅前地域の街づくり活動を進めます。

- 駅周辺の清掃や不良のビラを排除します。



世代間交流が活発な街づくりを進める

多様な世代が交流でき、家族ぐるみで参加できるイベントを実施します。

- 高齢者や子どもとの世代間の交流イベントを行います。



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域で取り組む新規事業について、地域と協働で考え取り組んでいきます。地区で必要とされる学習会や講座、啓発活動、地域の人材発掘等に関する支援を積極的に行っていきます。

区社会福祉協議会

住民相互の関係づくりを図り、地域の組織化を支援します。地域ケアプラザと協働して行う取組を支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

優しく、心豊かな子どもたちの成長を育み
高齢者にやさしい街 能見台

安心して暮らせる街

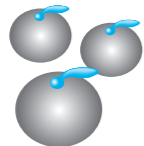
いざという時あわてないために
犯罪のない街づくりを目指しています

防犯防災講座 救急救命法講習会 社会を明るくする運動
金沢警察署生活安全課や金沢消防署能見台出張所のご協力を得て
地域の方々に必要な情報を届けます

笑顔あふれる街

世代を超えて、地域みんなが気軽に参加し
交流できる場、顔見知りになれる場を工夫しています

能見台地区フェスタ
さわやかスポーツ・ふれあい動物園・体力測定
フリーマーケット・G30推進事業・社明大会
バス旅行
みかん狩り
ハイキング



地域情報が共有できる街

ほのぼのの 4回/年

地域密着のお役立ち情報をお届け
これまでもこれからも街の姿を
綴っていきます。



子ども会交流会 3回/年

子ども会交流会の充実
各子ども会役員、町内会長、
民生児童委員等が参加し情報交換、
意見交換

助け合える街

住民同士の交流が活発になるよう、また安心して活動できるよう
助成金制度の充実、交流会を通じたの情報交換

助成金制度の充実
住民同士の交流活発化を支援する
複数の町内会にまたがる団体を支援する
保健講座の充実
フェイスストレッチ・体操教室など
高齢者福祉事業の充実
多世代懇話会
地域内高齢者会食グループとの連携

ボランティアグループへの支援と交流
ボランティア講座の開催
交流会を通して情報交換や意見交換
その他事業
子育て支援講座（離乳食講座）



協力し合える街

行政との連携 ケアプラザとの連携

《地区支援チームの取組》

地区支援チームとは、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、
地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう、支援を行います。

【地域ケアプラザ】

地域で取り組む新規事業について、地域と協働で考え取り組んでいきます。特に医療や防災等に関する学習会や講座、啓発活動について必要な支援を行います。

【区社会福祉協議会】

住民相互の関係づくりを図り、地域の組織化を支援します。また、活動の担い手の発掘・育成と支え合いの仕組みづくりを関係施設・機関と連携して支援します。

【区役所】

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。



能見台地区連合

- ・能見台一丁目自治会
- ・能見台二丁目自治会
- ・能見台三丁目町内会
- ・能見台五丁目町内会
- ・能見台六丁目町内会
- ・市営谷津坂住宅自治会

- ・シティ能見台つどいの街町内会
- ・パークシティ能見台ブロードエア自治会
- ・能見台四丁目南欧坂町内会
- ・シティ能見台ふれあいの街町内会
- ・シティ能見台いこいの街町内会
- ・コスモシティ能見台自治会
- ・サニーサイドヒル町内会
- ・つどいの街九番館町内会
- ・つどいの街十番館町内会

キャッチフレーズ

合言葉は 生涯住み続けたいと思う街

目標・取組

異世代の交流・多様な文化の共生

- 気軽に声かけ・挨拶をしよう。
- 誰もが集まりやすい場所づくりに今後も取り組みます。
- 地域の拠点づくりに力を入れます。

あいさつで笑顔輝く
並木のまちに

<小・中5校で取り組んでいるあいさつ運動の標語>



サマーフェスタ花火



餅つきと正月遊び

赤ちゃんからお年寄りまで健やかに楽しく

- スポーツ等の催しに力を入れます。
- 子育て支援に今後も力を入れます。
 - ① 食育の大切さの継承
 - ② 遊びを通じた体力づくりの普及
 - ③ イクメン（育児に参加している男性）の支援
- 大人もイキイキ過ごす啓発活動に力を入れます。
 - ① 男性の地域活動参加の支援
 - ② 心の健康についての啓発
- 障がい者に対する理解と支援に力を入れます。



グラウンドゴルフ大会



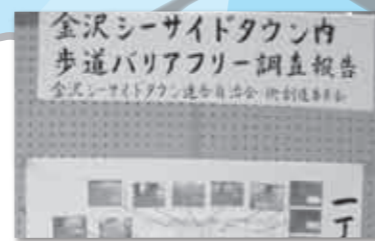
お母さんと一緒にお楽しみタイム



障がい者プール開放

さわやかな街づくりを私たちが

- 自治会入会を推進しよう。
- 次世代も住みやすい地区内の環境づくりに今後も取り組みます。
 - ① バリアフリー化
 - ② 交通問題
 - ③ 住環境に関わる問題
- 住民による防犯・防災活動の推進に取り組みます。



バリアフリー調査の報告



住環境問題に関する住民説明会

みんながサポーターとなれる街

- 地域を支える人材の発掘や組織の連携を図ります。
- 住民相互の助け合いの仕組み作りを支援します。
- ケアプラザの活動のPRや 取り組みの紹介などに力を入れます。
- ケアプラザと連携し、地域のボランティア活動を活発にします。

お元気ですか！カード



ウエス作りボランティア



情報の発信者はあなた 受信するのもあなた

- 分かりやすい情報の発信・伝達を心掛けます。
- 地域の情報拠点の充実を図ります。



地区の広報紙



情報拠点“ほのぼの”と
掲示板

その他

- エコ問題など

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域の福祉保健活動がより活発なものになるよう支援し、身近な相談相手としての役割を果たします。またケアプラザの活動と役割をもっと知っていただく活動を行っていきます。

区社会福祉協議会

住民相互の「つながり」を一層図り、安心して暮らせる仕組みづくりを地域ケアプラザや関係機関・団体と協働して支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

主な行事・活動

- 異世代交流
 - つつし祭り
 - サマーフェスタ
 - 文化祭
 - ソフトボール大会
 - 賀詞交歓会
 - 囲碁将棋大会
 - 餅つきと正月遊び
 - 地域ケアプラザのお祭り
 - ふれあい広場“ほのぼの”
- 赤ちゃんからお年寄りまで健やかに楽しく
 - 赤ちゃんとお母さん
ご一緒しませんか！
 - エンジョイ委員会の活動（子育てしやすい地域づくり事業）
 - 人形劇やミニシアター
 - 「おやこわくわくひろば」の支援
 - 「子育てサポートシステム説明会」の地区開催
 - 歴史探訪
 - グラウンドゴルフ大会
 - 健康づくり講座
 - 敬老のつどい
 - 「心の病について」の講座
 - 障がい者プール開放
 - ふれあい広場“ほのぼの”
- さわやかな街づくり
 - 街きれい金沢や老人会の清掃活動
 - 街創造委員会の活動
 - バリアフリー調査実施
 - 自転車講習会
 - 住環境に関する住民説明会
 - 社会を明るくする運動
- みんながサポーターとなれる街
 - お元気ですか！カード
 - ウエス作りボランティア
- 情報の発信
 - 連合インフォメーション
 - 地区社協ニュース
 - 行事や事業のチラシ
 - 事業紹介のタペストリー

キャッチフレーズ

みんなにやさしい潤いのある金沢東部 ～子どもの歓声が響き、あいさつの飛び交う街～

目標・取組

健やかな子ども・青少年を地域全体で育てましょう!!

※ 三つの親子の広場『どんぐり』『まつぼっくり』『ふれあいキッズ』の充実
乳幼児と母親の交流の場所を提供、スタッフからの子育てに関するアドバイスを実施します。



▲どんぐり

※ 母親サークルへの支援
お母さん達の自主運営を応援します。そして子育て情報の提供など母親サークルへの支援を実施します。

※ 養育者への支援
親子が地域の中で孤立しないよう呼びかけや子育て情報の提供など養育者への支援を実施します。

※ ヤングボランティアの育成
小・中・高校生などの青少年が地域の活動に積極的に参加するきっかけ作りを実施します。



▲秋祭りヤングボランティア店

※ にししば土曜塾の支援
青少年健全育成の取り組みのひとつとして子どもたちの健全な居場所を提供するため「英語で遊ぼう」などを実施します。

障がい児・者への理解を深めましょう!!

障がいがあることによる生活のしづらさや苦勞があります。一人ひとり、状況が違います。そのことを受け止め、相手を思いやる気持ちを持って、障がいがあってもなくてもともに支えあう地域を目指して、さまざまな取り組みを実施します。

- 勉強会の実施
- 「社協だより」による啓発活動
- 講演会の開催
- 障がい児・者のサロンの開催



いつまでもこの地で、 その人らしくいきいきと!!

- ※ ふれあいサロンの推進
高齢者が気軽に集える場を提供します。
- ※ 配食サービスの継続実施
高齢者のお宅（一人暮らし、二人暮らし）にお弁当をお届けするとともに、お元気なご様子も確認します。
- ※ 在宅福祉サービスの拡充
ベビーシッター、新生児の沐浴などのお手伝いをしています。今後は、アンケート調査を実施し、より多くの地域のニーズに応えるためのサービスを提供します。



▲ふれあいサロン



配食サービス▶

地域の人材は地域の宝!!

金沢東部地区は約4,700世帯、約11,300名の町。地域が開発されてから45年になります。多くの人材が居住する地域です。地域のために皆が“一人一役”を担って活動する地域を目指して、人材を発掘します。

ボランティアに参加して地域の沢山の方と知り合いになりました。楽しい老後が過ごせそうでとても心強く感じています。

若い人たちが参加しています!

なるべく自分の出来ることで社会につながりたいと思い、地域活動に参加しました。

参加者からはこんな声が聞かれています。

声をかけて下さる方がいて、思い切ってボランティア活動に参加しました。皆さんからエネルギーをいただき、前より生活にハリがあります。

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域で取り組む新規事業について、地域と協働で考え取り組んでいきます。特に障がい支援に関する学習会や講座、啓発活動について必要な支援を行っていきます。

区社会福祉協議会

新規事業の検討や既存事業の充実・強化のための情報提供、また、人材発掘・育成のための取組を関係施設・機関と協働して支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

四季の緑と風の音 安心と“ふれあい”のまちかど

目標・取組

高齢者福祉部会

※ 高齢社会の到来の中で健康で「いきいき」と生活できる環境づくりのお手伝いをはじめ、各町内会・自治会と協力して高齢者安否確認や高齢者の福祉についての活動を行います。

- ふれあい訪問を通じ、高齢者の把握に努めます。(安否確認等)
- ふれあいサロンを開催し、地域のつながりを広めます。
- 映写会を開催し、多くの方が気軽に参加していただけるよう努めております。
- 新春懇談会を開催し、お年寄りの生きがいにつなげております。
- 研修・講演会を開催し、高齢者等の理解を深めます。
- 「あんしんカード」「防災マップ」による見守り支援体制づくりを推進しています。



広報啓発部会

※ 各部会の活動についての広報活動と「社会を明るくする運動」の推進をします。

- 広報や会報等の発行を行います。
- 講演会開催を通じて地区を活性化します。
- 社会を明るくする運動(社明大会)の企画・立案・開催をします。
- 地域の支え合いを目指す活動「絆」「青い鳥」を検討します。



子育て支援部会

※ 0歳児～未就園児対象に、親子交流の場を提供し、お互い話し合える環境作りの推進を行います。

- 育児のための講演会・研修会を実施します。親子のストレス解消のための交歓会を開催します。養育者の正しい知識の習得を推進し、交流の場をつくれます。
- 未就園児の子育て家族の情報交換会(年12回)を実施し、「ふれあい」の場を提供します。



世代交流部会

※ 世代を超え、お互い交流を深め「ふれあい」の大切さを実感できる環境を提案します。

- 交流活動を企画立案し、世代を超えて集える環境を提案します。(レクリエーション等)
- 健康づくり交流会の支援をします。(ウォーキング等)



青少年支援部会

※ 青少年のすこやかな育成についての計画立案をし、非行・薬物撲滅、禁煙運動の啓発を行います。

- 青少年との「ふれあい活動」を開催します。(ボウリング等)
- 青少年の健全な育成の支援及び啓蒙活動を推進します。(映画会・講演会等)
- 登下校時の見守り活動をします。



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地区社会福祉協議会と連携し、福祉保健情報を、地域で分かりやすく提供します。住み慣れた地域での、世代を超えた福祉活動を支援していきます。

区社会福祉協議会

地域での見守りや支えあいの活動を広げていけるよう、各部会や町内会組織と共に取り組んでいきます。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

南部地区全員参加のまちづくり

目標・取組

子育てしやすい環境をつくり、 子どもの健全な育成を見守ります

※ 子育て支援事業

孤立しがちな子育て中の家族と地域をつなげる場や機会を作ります。

「シーエンジェル」を中心に子育てのネットワークを広げます。次世代を担う人材の育成に取り組みます。

……主任児童委員、民生委員・児童委員、保健活動推進員

※ 青少年健全育成事業

子どもたちが地域に誇りや愛着を持てる事業を進めていきます。少年消防クラブ活動や5町内会・自治会子供会活動を充実させるとともに、文庫小学校・金沢中学校 PTA との連携を強化していきます。

……青少年指導員、体育指導委員



高齢者、障がい者が安心して元気に暮らせる街

※ 異世代間交流大会(障がい者を含む)

内容をより一層充実させて継続していきます。

……民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員

※ 高齢者ふれあいサロン

各町内会・自治会毎にふれあいサロンを開催していきます。また、サロン同士の交流を図ります。

……民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員

※ 町ぐるみ健康づくり支援事業

地区社協と健康づくり「なぎさ会」との協働事業としてより充実させます。……地区社協、保健活動推進員

※ 健康づくりの基本である食育の推進

小さい頃からの正しい食習慣実現のための取り組みを充実させます。……地区社協、ヘルスマイト



人のふれあいを大切にする地域

※ 文化、歴史、福祉保健講座の開催

深い歴史に彩られた文化を継承する取り組みを進めます。地域内の福祉施設と連携しながら、地域福祉が根づいていく取り組みをします。

……地区社協

※ 福祉お花見バザー等の開催

活動が十分に行える財源を確保するために、福祉お花見バザー・どんと焼き等の活動を継続します。

……地区社協

※ 地域役員協働事業の推進

役員がそれぞれの役割を果たすとともに、地域福祉を充実させるために協働していきます。

また、安心して暮らせる地域をつくるのにふさわしい地区社協組織とはどうあるべきか検討します。……地区社協



きれいで安全に暮らせる地域

※ 安心・安全街づくりの推進

防犯面の充実とともに、災害時避難道路問題の解決、ゴミ問題等日常的な環境整備に取り組んでいきます。

……環境事業推進委員、地区社協

※ 災害時対策

日常的な住民のつながりを深めていくことで、災害時に役立つネットワークをつくります。

……民生委員・児童委員、友愛活動推進員、地区社協



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

人とのふれあいを大切にし、安心して暮らせるよう地区の事業の支援と共に個別の相談に迅速に対応します。福祉・保健の情報を広報紙や出前講座でわかりやすく啓発していきます。

区社会福祉協議会

地域福祉活動を進めていくために必要なスキルを得るための講座や研修開催を支援します。活動しやすい組織づくりの検討を共に進めます。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

あいさつで隣近所の支えあい

目標・取組

子育て世代から高齢者まで誰もが集い、支えあえる地域にします

- ※ 友だちつくろう
未就園児とその親を対象に、フリースペースを開催します。
- ※ 交流の場以外にニーズに応える活動
フリースペース以外にイベント(劇、体操等)を実施します。
- ※ 給・配食事業
独居や高齢者夫婦のみの世帯に安否確認やふれあいを兼ねて配食サービスや会食会を実施します。
- ※ 健康相談
年1回。会食会に併せて実施します。
- ※ 高齢者同士が気軽に集まれるサロンづくり
身近な場所で集えるよう、各町内会で実施します。



「友だちつくろう」の活動の様子。平成二十二年十一月二十一日、金沢地区社会福祉協議会、区役所、各町内会、NPO等が連携して実施しました。

防災、防犯面で安心できる地域にします

- ※ 地域パトロールの実施
各町内会単位で、住民自身が自分たちが暮らす地域の安全・安心のために実施します。



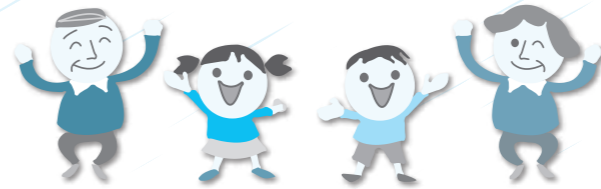
住民同士の声かけや挨拶をすすめます

- ※ 学校・PTAと連携して学童を守る
朝晩の登下校に学校・市・PTA・各町内会が連携し学童の安全を守る活動を実施します。



地域活動に多くの人に関われる地域にします

- ※ 地域の子ども会の交流会
みかん狩りやじゃがいも堀りなどを青少年指導員、体育指導委員の協力のもと、実施します。
- ※ 高齢者・障害者グループホームとの交流・支援
町内会の行う敬老会や防災訓練への参加を促し、協力します。
- ※ 障害者グループとの交流・支援
中途障害者リハビリ教室「ホープの会」の運営に協力します。
- ※ 子どもから高齢者までの交流の場づくり
野島公園で、金沢中学校生徒のボランティアをはじめ、子供から高齢者まで参加する「バーベキュー大会」を開催し、世代の交流を図ります。



- ※ 情報発信
地域イベント・事業を広く周知し、より多くの人々が種々の活動に参加できるよう、掲示板を活用した広報活動を実施します。

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地区社協や町内会と連携を取り、世代を超えて支えあえる地域づくりを支援していきます。困った時にはすぐ相談できる体制を整えて、地域の方と連携を取り、個別支援を充実します。

区社会福祉協議会

住民参加の地域福祉活動が充実できるよう、関係施設・機関と連携して支援します。



区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

誰もが住みよい支え合いの街 六浦東

目標・取組

世代を超えて気楽に交流しあえる地域づくり

※ いこいの場

地区の誰でも参加できる交流の場としてのサロン事業の充実を図ります。

…………… 地域子育て会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、老人会

※ ふれあいサタデー

中学生以上を対象としたスポーツ等を実施します。

…………… 地域子育て会

※ 健康づくりの会

筋力維持体操、散策、料理教室などの健康講座を行います。

…………… 保健活動推進員、食生活等改善推進員

※ ふれあい盆踊り

子どもと先生のバンド演奏もある盆踊り大会を開催します。

…………… 町内会・自治会、社会福祉協議会、子ども会、婦人団体、ヤングボランティア



▲筋力維持教室

健やかな子ども・青少年を育てます

※ わくわくキッズ

0歳から就園前までの子育て中の親子を対象に、月2回、町内会館でフリースペースを開催します。

…………… 地域子育て会

※ 地域ふれあいまつり

地域の腕に自信のある「人材マップ」を主体に交流祭を行います。

…………… 社会福祉協議会、地域子育て会、民生委員・児童委員、主任児童委員、青少年指導員、体育指導委員、婦人部、老人会

※ 青少年健全育成行事

毎年、スポーツ大会と体験教室を交互に行います。

…………… 社会福祉協議会、地域子育て会、民生委員・児童委員、主任児童委員、青少年指導員、体育指導委員、婦人部、老人会

※ 学童の安全を見守り

登下校の安全を手助けします。…………… 学援隊(見守り隊)、老人会



▲わくわくキッズ



地域活動にみんなが参加する

※ 地域活動

地域在住で匠の技のある方、特技のある方などの人材マップを作ります。

…………… 地域子育て会

※ 高齢者110番

高齢者の安全と日常活動の手助けをします。

…………… 保護司、社会福祉協議会、町内会・自治会、民生委員・児童委員、婦人部、老人会

※ 社会を明るくする運動地区大会(社明大会)

年1回講師を呼んで全国的な行事に参加するため「社会を明るくする運動地区大会」と随時にミニ集会を行います。

…………… 保護司、社会福祉協議会、町内会・自治会、民生委員・児童委員、主任児童委員、青少年指導員、体育指導委員、婦人部、老人会

※ 拠点防災訓練

金沢区、消防署、消防団、関東学院大学、横浜南共済病院、ホンダカーズ、地区町内会・自治会参加で実施します。

おやこの料理教室▶

※ 配食・給食

一人暮らし高齢者の安全と日常活動の手助けをします。

…………… 社会福祉協議会、町内会・自治会、民生委員・児童委員、主任児童委員

※ 健康づくりの会

心身共に健康な日常生活を送るためのお手伝いをしています。(ウォーキング、歴史散策、おやこの料理教室、健康講座など)

…………… 保健活動推進員、食生活等改善推進員



◀ウォーキング

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地区の活動が継続されるよう、新たな人材確保・育成に取り組みます。また、地区社協と連携し、各種講座や催し物を開催します。

区社会福祉協議会

地域での見守りや支えあいの活動が充実できるように、関係施設・機関と連携を図りながら支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みづくりを目指すとともに、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

みんなしあわせはつらつ六浦

目標・取組

地域でいきいき 楽しい老後

～高齢者はいつまでも若々しく、生きがいを持って生活します～

- ✿ **高齢者お花見会**
さくらの開花に合わせて、六浦公園で実施します。
- ✿ **高齢者配食・会食会**
年4回、4地区に分かれて配食と会食を実施します。
- ✿ **ふれあい給食会**
高齢者が小学校で、学童と給食を一緒に食べます。
- ✿ **ふれあいタイム**
学童が町内会館を訪問し、地域の方と交流をします。
- ✿ **昔遊びの会** **新規**
地域の方が小学校で1年生に昔の遊びを伝えます。
- ✿ **サロンの設置** **新規**
お風呂屋さんを利用して、高齢者が気軽に集える居場所作りを検討していきます。



子育てしやすい環境づくり

～楽しく生き生きとした子育てを応援します～

- ✿ **ハイハイくらぶ**
 - 毎月第1木曜日10:30～12:00(8月、1月はお休み)
 - 場所は瀬戸町内会館です。
 - 簡単おやつのお会や親子体操、講演会、お楽しみ等々、毎月楽しいミニイベントを開いています。
 - 養育者同士の仲間作りを応援し、孤立しない子育てを目指します。



子どもから高齢者までみんなで集まろう

～子どもから高齢者・障害者も、みんなが仲良くつながります～

- ✿ **いも掘りハイキング**
6月のじゃが芋掘りをメインに、芋の収穫時期に合わせてハイキングをします。
- ✿ **地域めぐりハイキング**
水や緑といった自然と歴史に恵まれた自分の住む町を知り、歩くことで、健康増進と親睦を図ります。
- ✿ **お祭り**
地域の夏祭りには、中学生全員が参加し、神輿を担いだり、食事の準備を手伝ったりしながら、地元の伝統文化を大切にしています。



安全安心な街にするためにみんなで力を合わせる

～安全安心な街を作るためにみんなで努力します～

- ✿ **子どもの見守り** 登下校の子どもを地域が見守ります。
- ※以下はそれぞれ年1回、講師を招いて開催します。
- ✿ **社明大会(社会を明るくする運動地区大会)**
親や地域が子どもたちにどう関われるか、コミュニケーション、薬物など、青少年をとりまく問題について学びます。
- ✿ **福祉講座**
介護保険制度、メタボリック症候群、高齢者医療制度など、時宜にあったテーマについて学びます。
- ✿ **地域ケア意見交換会**
自転車の交通ルール、食の安全問題、災害時の心構えなど、身近な問題について学びます。



広報啓発活動

～みんなに読まれる 広報を目指します～

- ✿ **広報紙『社協むつうら』の発行**
 - 年1回発行し、全世帯に配布します。
 - 金沢八景の名で知られる歴史的風土と、若者が集う文教地区という恵まれた環境を紙面に生かしていきます。
 - みんなに読まれる広報作りをし、紙面の充実と質の向上を目指します。



楽しい仲間づくり

～活動を担う仲間も 学習する機会を持ちます～

- ✿ **女性研修会**
年1回テーマを設けて学びます。
- ✿ **工場見学・調理実習**
楽しく仲間と学びあうことで、共に活動する者同士がつながり、親睦を深めます。



地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

福祉保健に関する情報を発信することで、地域の方々に交流のきっかけを作り、活動を継続できるように支援します。地域の誰もが幅広く活動でき、かつ、相談もできる身近な窓口を提供します。

区社会福祉協議会

住民相互の交流や、支えあいの活動が活性化するように、関係施設・機関と連携して支援します。新たな居場所づくりの取組について、共に考え、支援します。

区役所

さまざまな事業を通じて、必要な人に的確な支援をします。また、関係施設・機関との地域ネットワークを構築しつつ、必要に応じて協力することで、地区活動を支援します。

思いやりと笑顔で 問題解決に取り組むまち・六浦西

住民が互いに思いやり、 誰もが生きがいを感じ暮らせるまちにする

- ※ 挨拶など隣同士の声のかけあいを進めていきます。
- ※ 子育て支援・フリースペース“はぐはぐ”の開催
親子（未就園児とその保護者）の遊び場、ママ同士のふれあいの場、情報交換の場として、イベント（お話し会・親子体操）などを実施しています。
- ※ 異世代交流の場『六浦西地区フレンドまつり』の開催
大道小学校の体育館・校庭で毎年5月に開催します。自治会・町内会、福祉団体、保育園・幼稚園・小学校・中学校、ボランティアグループなどが参加し3世代で楽しめるお祭りです。

福祉作業所「ごのご」▶



安心して暮らせるまちにする

- ※ 自治会・町内会でパトロールを実施
安心・安全な町づくりに各自治会・町内会でパトロールを実施しています。老人会の見守り隊も登下校の通学路で活躍しています。
- ※ 高齢者・障害者・一人暮らしの方のゴミの分別の手伝いを検討していきます。

▼老人会のパトロール



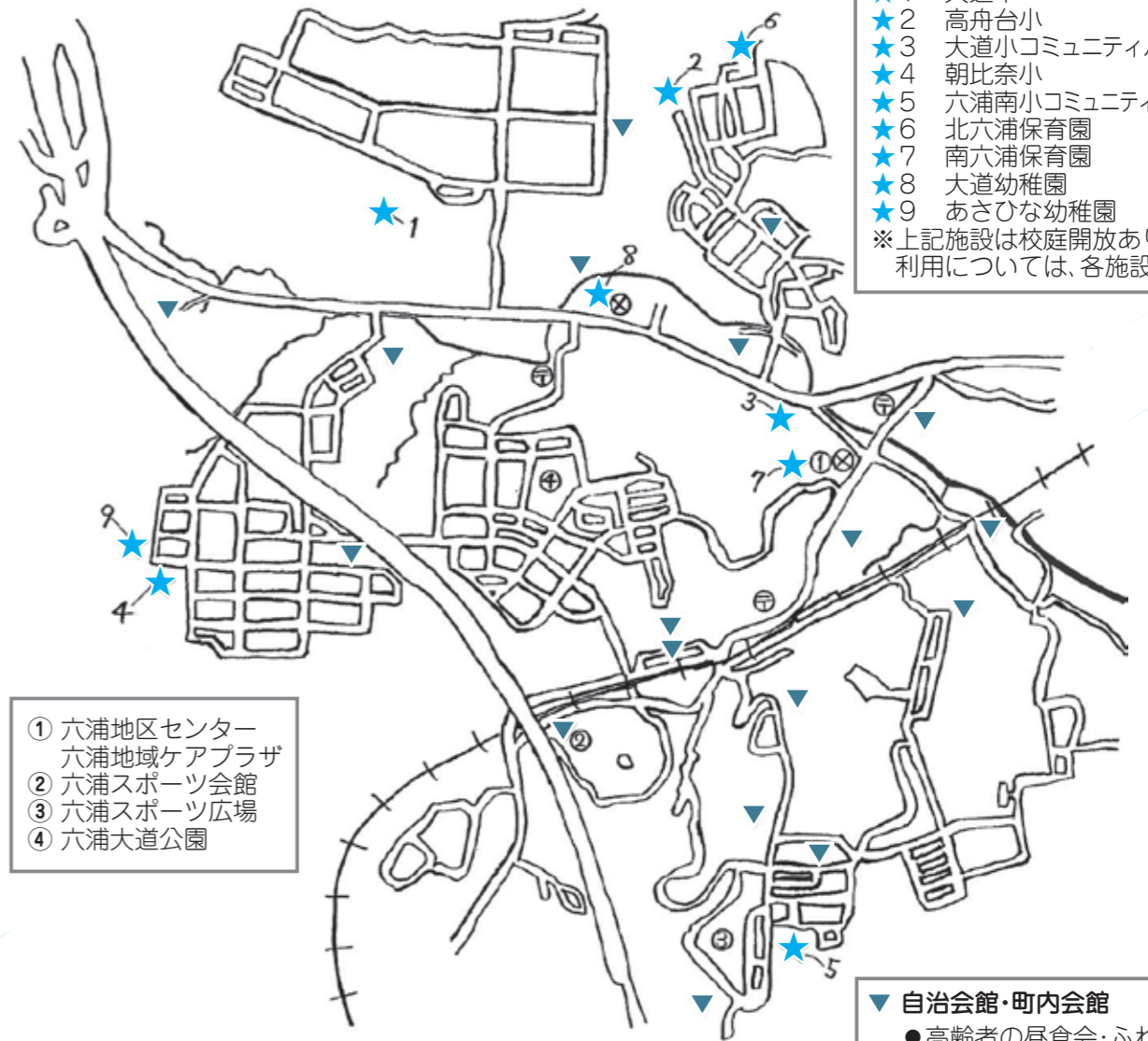
地域活動にみんなが参加する

- ※ 人材マップ作り
地域にお住まいで匠の技・特技のある方の活躍の場を提供でき、また、地域の方のニーズにも応えられる冊子を作成します。

広報紙の発行

- ※ 社協だより『ふれあいの友』を年2回発行
掲示板や回覧板を利用し、社協の活動をPRしています。

公共施設の活用



- ★1 大道中
 - ★2 高舟台小
 - ★3 大道小コミュニティハウス
 - ★4 朝比奈小
 - ★5 六浦南小コミュニティハウス
 - ★6 北六浦保育園
 - ★7 南六浦保育園
 - ★8 大道幼稚園
 - ★9 あさひな幼稚園
- ※上記施設は校庭開放あり
利用については、各施設まで

- ① 六浦地区センター
六浦地域ケアプラザ
- ② 六浦スポーツ会館
- ③ 六浦スポーツ広場
- ④ 六浦大道公園

- ▼自治会館・町内会館
 - 高齢者の昼食会・ふれあいサロン
 - 子育て支援・親子のふれあい活動

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

地域の福祉・保健活動の連携を図り、地域に必要な情報の提供により、活動の支援を行います。ふれあいバザーやフレンドまつりを通じて、地域との交流を深めていきます。

区社会福祉協議会

住民相互のつながりが深まるような活動に関係施設・機関と連携を図りながら支援します。地区活動の広報が充実できるよう研修等について支援します。

区役所

必要な人に的確に支援が届く仕組みをつくり、関係団体・機関との連携を図りながら地区活動を支援します。

キャッチフレーズ

明るく 安全・安心なまちづくり みんなで考え、行動する「釜利谷」

目標・取組

- ※ 高齢者、子ども、障がい者などと共に、
みんなで支えあう人間関係づくり
- ※ 声かけやあいさつが気楽にできるまちづくり
- ※ 住みやすい環境づくり
- ※ 健康づくりで元気に暮らそう



高齢者のくらしのために

元気でいきいきとした暮らしのために介護予防、健康増進の取組を進めます。

- 「かもめ体操」「はまちゃん体操」の普及
- 「健康ウォーキング」の開催
- 「講演会・講習会」の開催

保健活動推進委員会

地域の見守りや、交流を図ります。

- 「一人暮らし高齢者への配食・見守り」 民生委員児童委員協議会・老人クラブ
- 「敬老芸能大会」 地区連合町内会

子育てを応援します

「釜利谷子育て連絡会」を開催します。区の「健やか子育て連絡会」へも
参画しながら、地域での子育て支援を行います。

- 「親子でおさんぽ」(子育てママのストレス解消)
- 「パパ・ママ・子どものバランスメニュー」(食育講座)
- 「親子ほっとサロン」(子育て中の親子のフリースペース)
- 「親子すくすく広場」(子育て中の親子の交流イベント)
- 「講演会・学習会」の開催

保健活動推進委員会・
釜利谷子育て連絡会



青少年健全育成のために

地域の小学校、中学校の交流や世代間交流を行い、
地域全体で子ども達の育ちを見守ります。

- 「夏季球技大会」「卒業記念球技大会」
- 「新春百人一首大会」(中学生対象)
- 「こどもの広場」(昔遊びの交流会)
- 「ふれあいスポーツ交流会」
- 「愛のパトロール」

青少年指導員・
体育指導委員・子ども会連絡会



障がい者のくらしのために

- 障がい児の登下校を支援します。..... ホイール若菜
- 障がいのある中学生の居場所づくりについて検討を進めます。



住みよいまちづくり

安全・安心なまちづくりを考える講演会等を開催します。

- 「社会を明るくする運動 地区大会」 地区社会福祉協議会
- 「ミニ集会」 保護司・更生保護女性会
- 家庭防災活動の広報・啓発 家庭防災員

地区社会福祉協議会の活動を地域のみなさんにお知らせします。

- 広報紙「かまりや」などの発行 地区社会福祉協議会

地区支援チームの取組

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームをつくり、地域の福祉保健に
関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう支援を行います。

地域ケアプラザ

身近な場所で、福祉・保
健活動に関する相談や
広報誌等で情報を発信
し、誰もが参加しやす
い居場所作りと世代間
交流の支援にも取り組
みます。

区社会福祉協議会

みんなで支えあう人間
関係づくりなど、継続
した取組が充実できる
よう、関係施設・機関
と連携して支援しま
す。新たな課題につ
いて検討が進むよう支
援します。

区役所

子育て支援、高齢者等
の介護予防事業を通し、
地域のネットワークづく
りや健康づくりに関係
団体・機関と連携を図
りながら取り組み、地区
活動を支援します。

金沢区の人口統計 (横浜市統計ポータルサイト より)

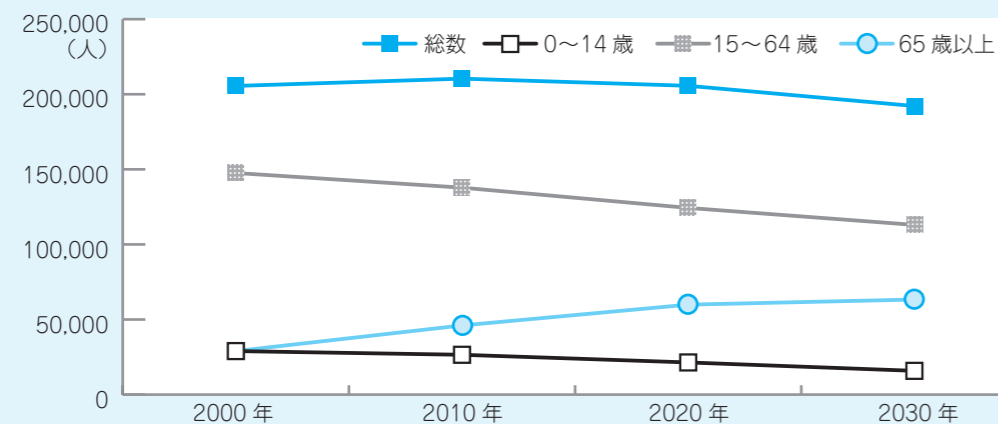
人口構成等の特徴(平成17年9月-22年9月)

- ◆人口構成別に見ると、生産年齢人口(15～64歳)が減少する中で、高齢者人口(65歳以上)は急速に増加しています。
- ◆総世帯数は約4%増えていますが、総人口、世帯当り人数は減少しています。
- ◆高齢者単身世帯数は2倍近く増加しました。

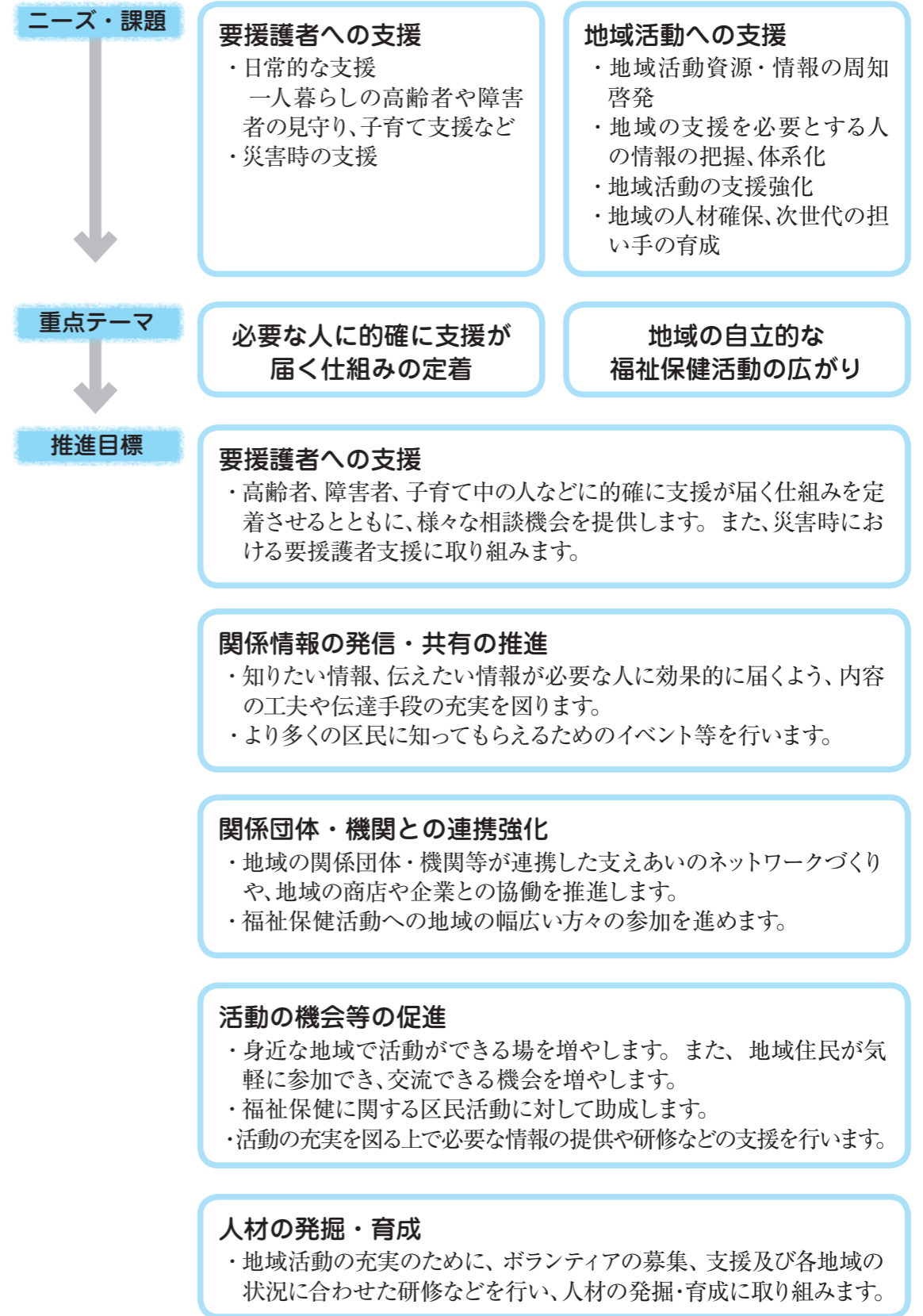
人口及び世帯数

区分	H17.9 (総数比)	H22.9 (総数比)	H17-22 増減数 (比率)
総人口	210,864 人	209,542 人	▲1,322 人 (▲0.63%)
年少人口 (0～14歳)	27,745 人 (13.16%)	27,042 人 (12.91%)	▲703 人 (▲0.25%)
生産年齢人口 (15～64歳)	145,553 人 (69.03%)	136,910 人 (65.34%)	▲8,643 人 (▲3.69%)
高齢者人口 (65歳以上)	37,566 人 (17.82%)	45,590 人 (21.76%)	+8,024 人 (+3.94%)
総世帯数	87,190 世帯	90,774 世帯	+3,584 世帯 (+4.11%)
世帯あたりの人数	2.42 人	2.31 人	▲0.11 人 (▲4.55%)
高齢者単身世帯数	5,666 世帯 (6.50%)	10,751 世帯 (11.84%)	+5,085 世帯 (+5.34%)
横浜市65歳以上	597,202 人 (16.69%)	727,747 人 (19.77%)	+130,545 人 (+3.08%)

金沢区将来人口推計



3 区域計画



要援護者への支援

- 高齢者、障害者、子育て中の人などに的確に支援が届く仕組みを定着させるとともに、様々な相談機会を提供します。また、災害時における要援護者支援に取り組みます。

検討会・フォーラムでの意見など

◆高齢者、障害者、子どもなどへの日常的な支援

- 高齢単身者が出てもらえるような身近なサロンを作りたい。
- 講座の開催など、障害への理解を進めていくための活動をする。
- 子育てサロンは、親同士で話せるとても良い集まりになっている。

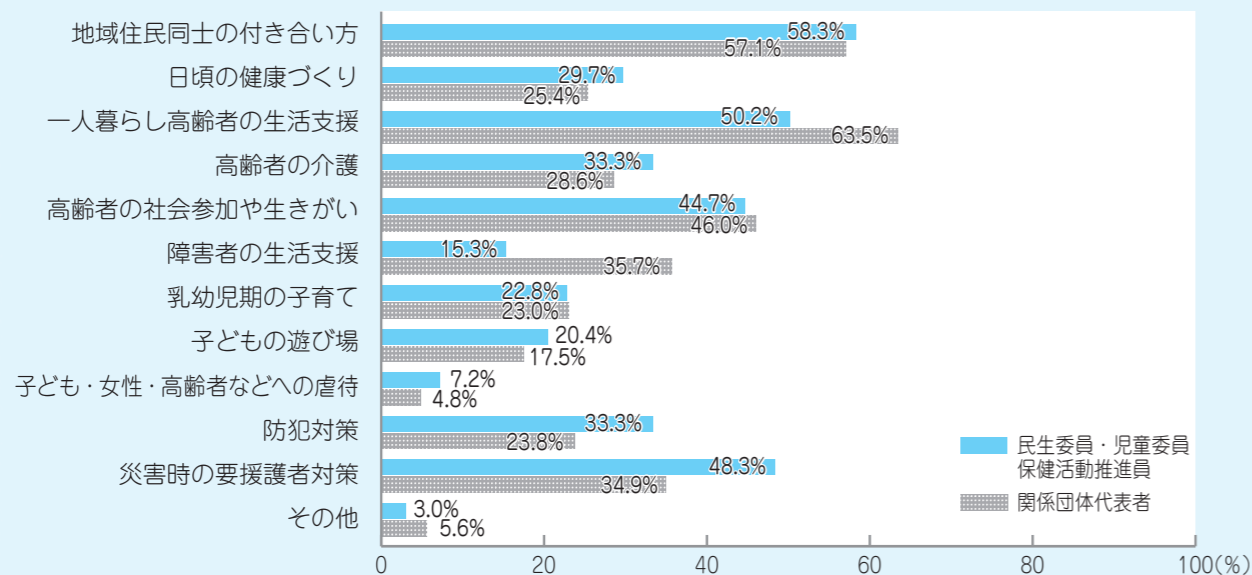
◆災害時の支援

- 災害時の要援護者の把握をどうしていくのか。
- 災害時に近隣で助け合えるようになれば良い。

アンケートの結果

Q 地域にはどのような課題や問題があると感じていますか。(5つまで回答)

(出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート)



「地域住民同士の付き合い方」、「一人暮らし高齢者の生活支援」、「高齢者の社会参加や生きがい」が上位を占めています。また、「災害時の要援護者対策」に関心が高くなってきています。

目標達成に向けた取組

地域

- ①食事会や定期的な電話による安否確認等、地域全体での見守り活動や支えあいを充実させ、日常的な支援を実施します。
- ②あんしんカードや防災マップ・名簿等を用いて災害時の要援護者の見守りや支援体制づくりについても取り組みます。

地域ケアプラザ

- ①高齢者を対象とした食事会やサロンの開催等を通じて、交流や見守り活動を進めます。
- ②障害者が参加できる場づくりや、当事者及び関係団体の活動を支援します。
- ③乳幼児や養育者が参加できる事業等を行い、情報提供、情報交換、相談、参加者間の交流につなげます。また、ボランティアグループによるサロンや母親による子育てサークル等の活動を支援します。
- ④地域の施設として、災害時の要援護者支援等について関係団体等と連携して取り組みます。

区社会福祉協議会

- ①地区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働し、小地域の福祉活動がより活性化するように、継続的な支援を行います。
- ②障害児者の社会参加を促進するため、関係機関・団体と連携し、情報共有等の取組を進め、交流事業や余暇活動支援を実施します。
- ③地域の災害時における要援護者支援について、災害ボランティア活動の充実など仕組みづくりを進めます。

区役所

- ①高齢者虐待の防止を図るため、地域包括支援センターとの連携のもと、相談や支援を行います。また、認知症への理解を広めるため地域のボランティアとともに認知症サポーターを養成していきます。
- ②障害児者に関する啓発講座の開催などを行い、障害児者の理解促進を行います。
- ③安心して子育てをし、子どもたちが健やかに成長していくための地域づくりを地域、関係機関等と協働で推進します。また、養育者の話を聴き、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図ります。
- ④災害時に自力での避難が困難と思われる災害時要援護者について、地域における名簿の作成や見守りの体制づくりを支援します。

関係情報の発信・共有の推進

- 知りたい情報、伝えたい情報が必要な人に効果的に届くよう、内容の工夫や伝達手段の充実を図ります。
- より多くの区民に知ってもらえるためのイベント等を行います。

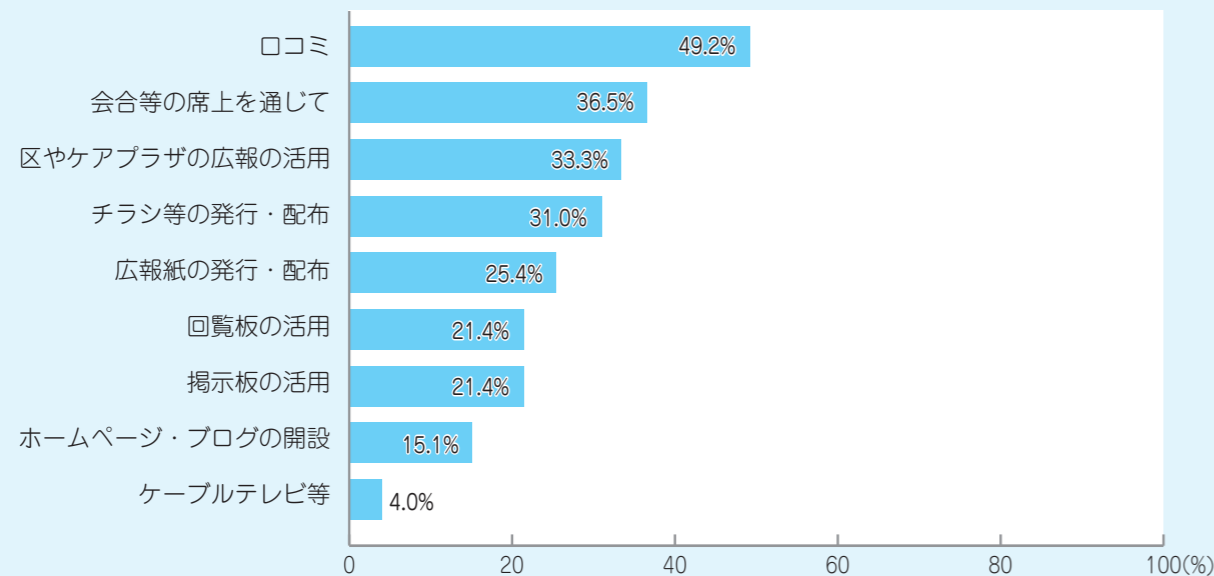
検討会・フォーラムでの意見など

◆ 地域資源・情報の周知・共有

- 地域の活動は知られていないので、もっとPRをするべきである。
- 行事等様々な情報を地域の人たちに伝達していく仕組みが必要である。
- 福祉の関係団体と関係施設とネットワークを作り、地域の福祉に関する情報の共有化を図る

アンケートの結果

Q 地域への情報提供手段としてどのようなことを行っていますか。
(関係団体代表者あて・複数回答) (出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート)



「口コミ」による情報提供は、ほぼ5割に達し、第1位となっています。

目標達成に向けた取組

地域

- ① 地域での活動や行事の開催など様々な情報を、広報紙や掲示板、回覧板、口コミなどの提供方法を用いて、できるだけ大勢の方々にお知らせできるようにします。

地域ケアプラザ

- ① 地域の身近な相談窓口として、介護保険等の制度について分かりやすく情報提供します。
- ② 地域の福祉保健活動について情報収集を行い、住民への情報提供や活動の推進に活用します。
- ③ ケアプラザ広報紙、区役所の広報等を活用し、ケアプラザ自主事業や福祉保健活動の紹介周知に努めます。
- ④ 個人情報に関する正しい理解・啓発を進めていきます。

区社会福祉協議会

- ① 最新で役立つ福祉情報の提供が行えるよう、区社会福祉協議会のホームページの充実など、インターネットの活用を一層促進します。
- ② 「福祉かなざわ」などの情報紙についても内容の充実を図ります。

区役所

- ① 地域福祉保健計画を広く区民に浸透させるため、区社会福祉協議会と連携し、啓発・交流イベントを行います。
- ② 地域での食育推進のため、食生活等改善推進員などと連携して、食育に関する講座を開催します。
- ③ 各種メールマガジン※などを用いて、様々な情報をより多くの方にタイムリーに発信します。
- ④ 個人情報に関する福祉保健活動者向けの意識啓発事業を実施します。

※メールマガジンとは、発行元に自分のメールアドレスを登録することによって定期的にメールで情報を受け取るシステムのことです。

関係団体・機関との連携強化

- 地域の関係団体・機関等が連携した支えあいのネットワークづくりや、地域の商店や企業との協働を推進します。
- 福祉保健活動へ地域の幅広い方々の参加を進めます。

アンケートの結果など

Q (地域の課題や問題・悩みの解決に向けて) 区民・関係団体・行政等がそれぞれの立場でどのように協力・連携すれば解決すると思いますか。

(出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート)

A (主な意見)

- ・ 地域の活動に参加が少ない子育て世帯を学校と協力
- ・ 情報交換会を開催
- ・ 教員、医師、ケースワーカーなど様々な職種や立場の人との連携
- ・ 若い方への活動のPR方法についての協力

現在行っている取組紹介

地域支えあい連絡会

地域支えあい連絡会とは、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を続けられるように、支えあいの地域づくりを進めるために、各地域ケアプラザを事務局として、横浜市で平成12年度から始まった事業です。

金沢区では、地域の福祉・保健活動の担い手の方々等が、「顔の見える関係づくり」をしながら、地域の状況を話し合い、課題を共有する場として、9つの支えあい連絡会が継続実施されています。

地域支えあい連絡会をきっかけに、共有した課題を解決するために、地域の社会資源マップづくりや、サロンづくりを行ったところもあります。

今後も、地域の実情や特性に応じた柔軟なネットワークづくりを行っていきます。



目標達成に向けた取組

地域

- ① 地域の見守り、支えあいを充実させるため、地域の関係者や地域ケアプラザ等関係機関との連携推進を図ります。

地域ケアプラザ

- ① 地域支えあい連絡会を通じて、地域の福祉保健団体間のネットワークづくりに努めます。

区社会福祉協議会

- ① 区内の商店や企業の地域貢献活動に関する意向を把握し、協働できる事業の検討を進めます。
- ② 福祉啓発事業の実施、「福祉保健のつどい」の開催などを通して、区民の地域福祉活動への理解と協力の輪を広げます。

区役所

- ① 地域ケアプラザが開催する地域支えあい連絡会と連携しながら、日常生活圏における支えあいのネットワークを充実します。
- ② 各学校と連携し、児童・生徒の健康づくりを推進します。
- ③ 各障害者関係機関と情報共有や情報交換を行い、地域ネットワークを強化します。



活動の機会等の促進

- 身近な地域で活動ができる場を増やします。また、地域住民が気軽に参加でき、交流できる機会を増やします。
- 福祉保健に関する区民活動に対して助成します。
- 活動の充実を図る上で必要な情報の提供や研修などの支援を行います。

検討会・フォーラムでの意見など

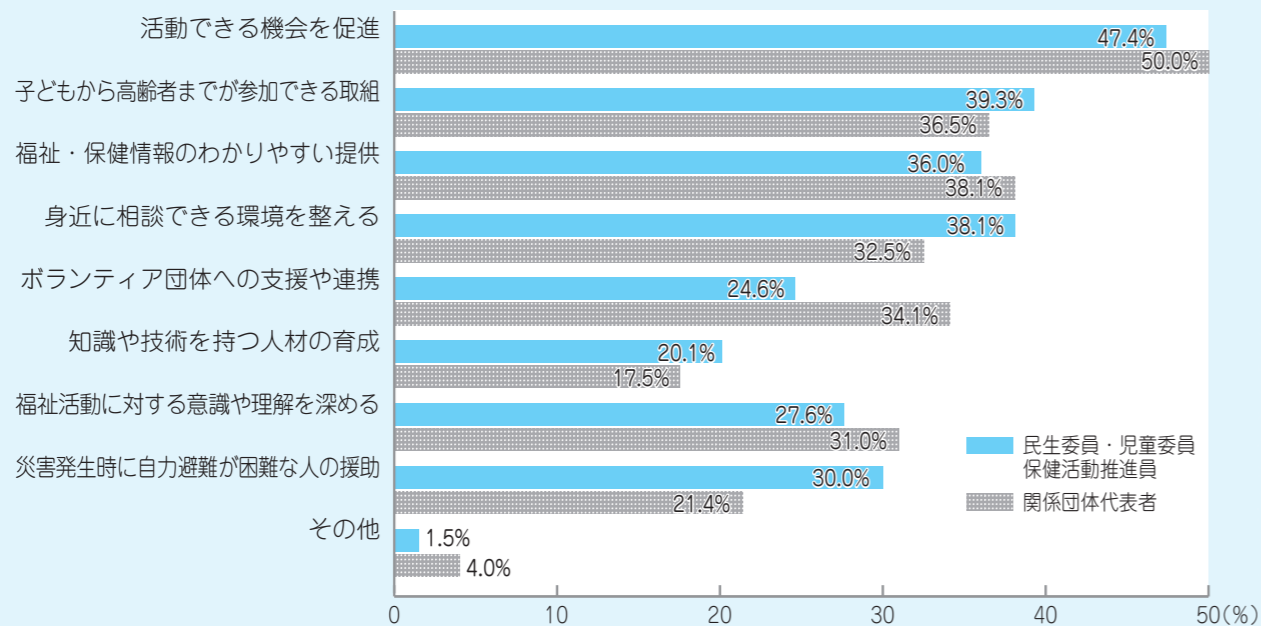
◆活動スペースの確保、地区活動への支援（ボランティア団体など）

- 誰もが集まりやすい場所づくりに取り組みたい。
- ボランティアとどのような交流会を実施するか検討したい。
- 地域を支える人材、組織の連携を図る必要がある。
- 活動資金が足りない。

アンケートの結果

Q 地域住民が支えあいを推進していくために、どのようなことが重要ですか。(3つまで回答)

(出典：地域の福祉保健活動に関するアンケート)



民生委員・児童委員、保健活動推進員の47.4%、関係団体代表者の50.0%が「活動できる機会を促進」が重要だと回答しています。

目標達成に向けた取組

地域

- ①各種サロンの企画・実施を通して、地域住民が誰でも気軽に参加できる活動の機会を増やし、地域の交流を進めます。

地域ケアプラザ

- ①子育て・高齢者・障害者支援、防災等に関する取組を、各地区と連携して事業を企画します。また、地域の関係団体に対して必要に応じて後方支援を行います。
- ②貸し館利用団体の懇談会等の実施を通して、団体間の連携を進めると共に、団体の課題や要望に応じた活動支援を行います。
- ③地域の活動団体に対し活動場所の提供等の支援を行います。

区社会福祉協議会

- ①「いきいき金沢助成金」等による活動費助成を行います。
- ②各種助成金の情報を提供します。

区役所

- ①区民が自主的に健康づくりに取り組めるよう支援します。
- ②地区社会福祉協議会をはじめとした福祉保健団体の自主的・公益的な活動に対して助成します。



人材の発掘・育成

- 地域活動の充実のために、ボランティアの募集、支援及び各地域の状況に合わせた研修などを行い、人材の発掘・育成に取り組みます。

検討会・フォーラムでの意見など

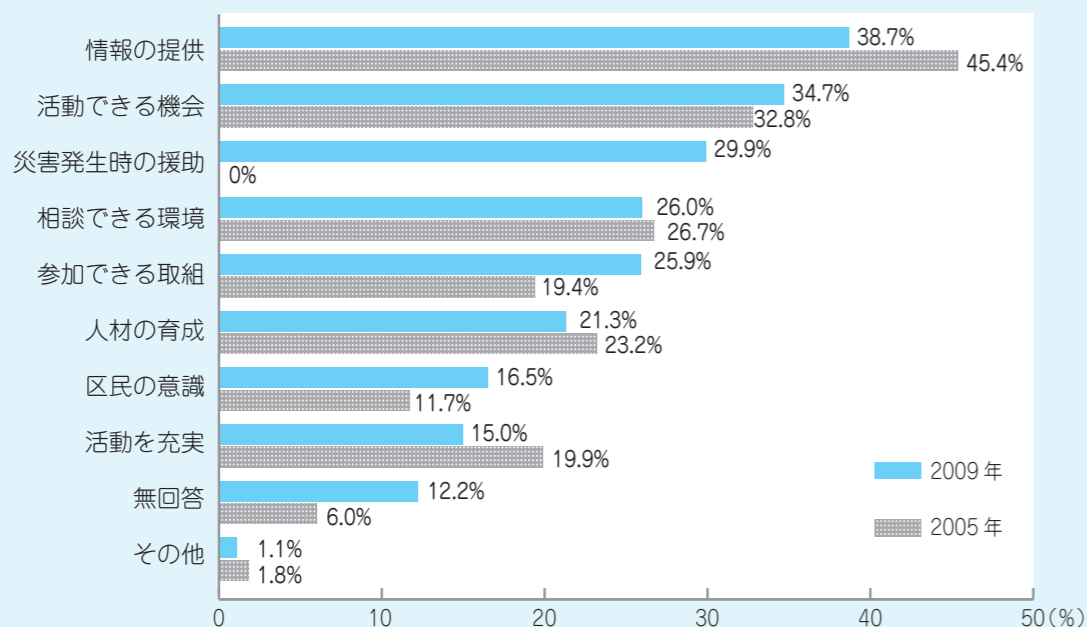
◆次世代の担い手の育成

- 活動を継続していくために、新たな人材確保、育成が重要である。
- 若い世代が興味を持つ活動を行い、ボランティアへの一歩が踏み出せるようにする。
- 人材発掘と活躍の場を設定するべきである。

アンケートの結果

Q 地域住民が支えあいを推進していくために、どのようなことが重要ですか。(3つまで回答)

(出典：区民意識調査2009、区民アンケート2005)



※区民アンケート2005については、「災害発生時の援助」の選択肢がないため、比率は0%となっています。

2009年、2005年とも、2割の方が「人材の育成」が重要だと回答しています。

目標達成に向けた取組

地域

- ①地域活動・行事などを通じて新たな人材の発掘に努めます。
- ②ボランティア活動団体の支援を行います。
- ③元気な高齢者や若い世代に活動への参加を働きかけます。

地域ケアプラザ

- ①担当地域の現状を把握するとともに、区社会福祉協議会と連携し、地域のニーズに合ったボランティアの育成に努めます。
- ②ボランティア活動へのきっかけとなる講座や事業開催を通じて、新たな担い手の発掘に取り組みます。
- ③新たな自主グループの立ち上げや人材育成に努めます。

区社会福祉協議会

- ①区ボランティアセンターの運営、機能の充実強化を目指し、ボランティア情報を積極的に提供し、ボランティア養成講座を開催するなど、活動への参加者を拡充します。登録ボランティアの交流会を開催し、活動の活性化を支援します。
- ②支えあい活動を実践しようとする地域のボランティアセンターについて、開設に向けた支援や安定した運営が行えるよう継続的な支援を行います。
- ③ボランティア団体の交流会を開催し、情報交換により連携を深めるなど、活動内容の充実を支援します。
- ④福祉教育に関する相談に応じ、生徒を対象とした講座開催の支援を行うとともに、教職員向けの講座を開催します。また、対象者の拡大など事業のあり方を検討します。

区役所

- ①地域活動団体(民生委員・児童委員、保健活動推進員等)の連絡会等を通じた人材育成や、ケアマネジャー等サービス提供者のスキルアップに取り組みます。

計画の推進に向けて

(1) 計画推進の仕組み

第2期金沢区地域福祉保健計画の推進のためには、地域、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所がそれぞれの役割を確認しながら協働で取り組んでいくことが必要です。

14地区の「地区別計画」は、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員により構成される「地区支援チーム」がサポートしながら、地域が中心となって推進していきます。

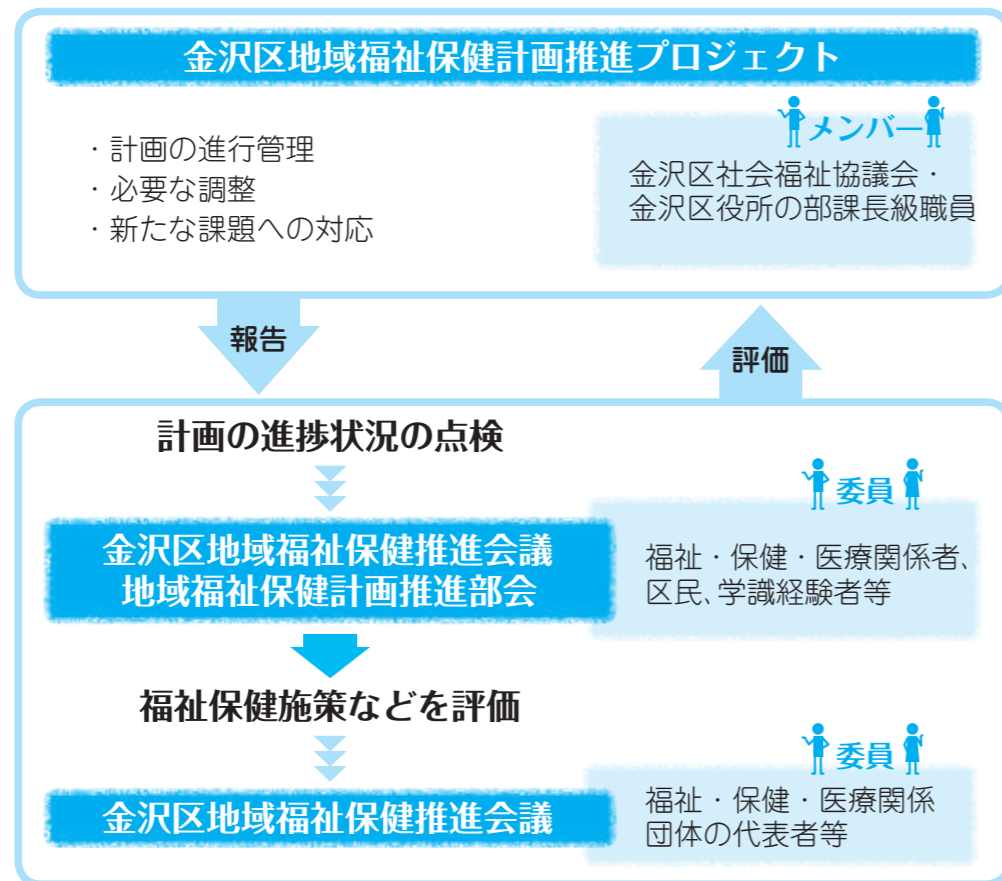
「区域計画」は、地域における取組を踏まえながら、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所が協働して推進していきます。

(2) 計画の進行管理

計画の進行管理については、「推進プロジェクト」が「地区別計画」と「区域計画」を合わせて行い、必要な調整や新たな課題への対応を行いながら、「地域福祉保健計画推進部会」に報告します。

推進部会では、計画に示された各取組の進捗状況などを点検し、結果を「金沢区地域福祉保健推進会議」へ報告を行います。

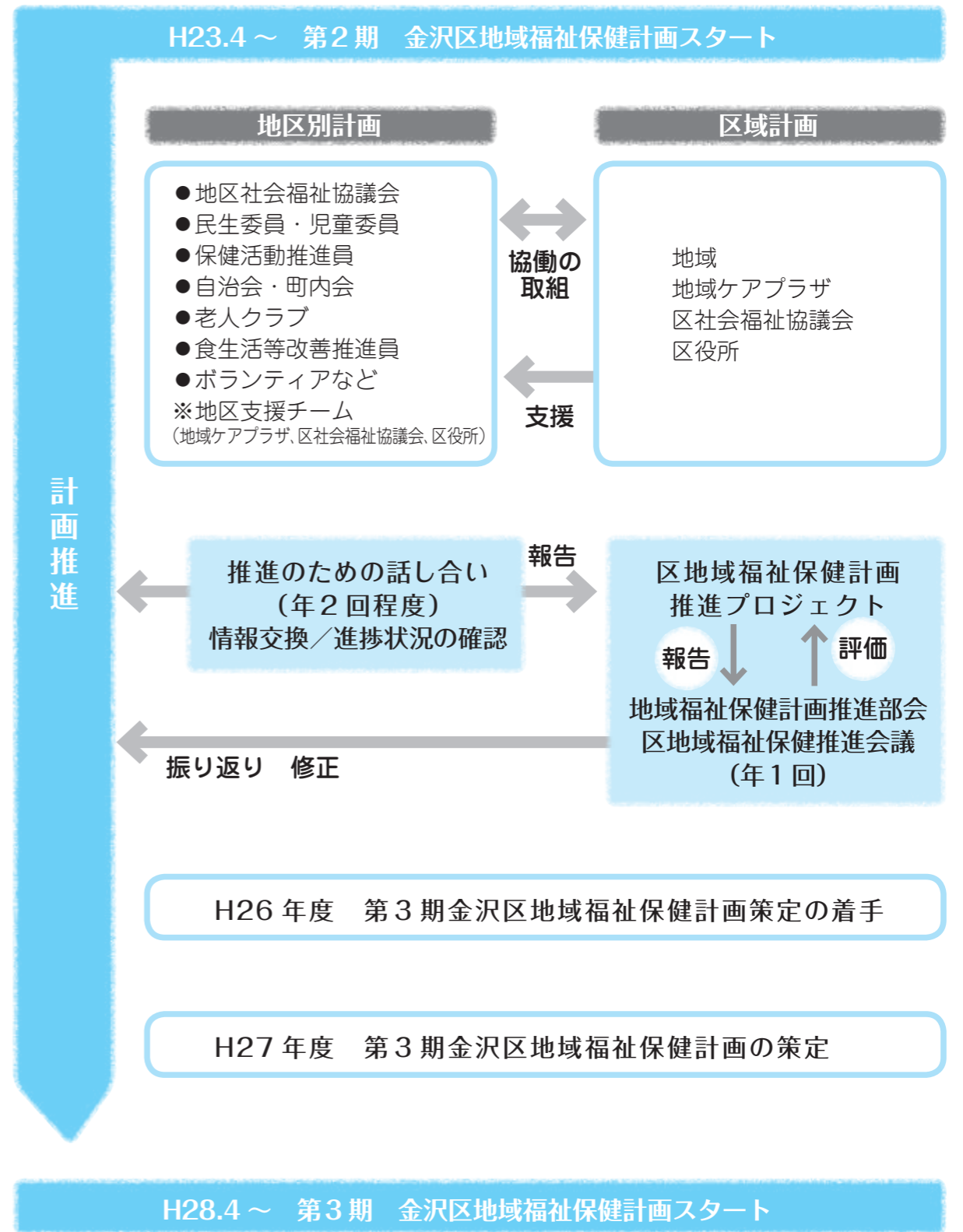
推進部会からの報告を受けた「地域福祉保健推進会議」では、その内容を評価します。



計画推進スケジュール

H23
～
H27

H23.4～ 第2期 金沢区地域福祉保健計画スタート



H28

H28.4～ 第3期 金沢区地域福祉保健計画スタート

H26年度 第3期金沢区地域福祉保健計画策定の着手

H27年度 第3期金沢区地域福祉保健計画の策定

資料



14 地区の紹介

アンケート調査結果

金沢区地域福祉保健推進会議委員等名簿



富岡第一地区

地区の特色

金沢区の最北に位置しており、丘陵地を開発した坂道の多い住宅地が立ち並んでいます。国道16号が南北に走り、富岡西一丁目・二丁目・三丁目・富岡東一丁目・三丁目にある、青砥・椿ヶ丘・鳥海ヶ丘・日生鳥見ヶ丘・東芝杉田コーポ・富岡梅林・みづきヶ丘の7つの町内会・自治会で構成されています。



運動会の様子



もちつき大会の様子

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約8,900人

世帯数：約3,900世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 人口については、高齢者人口(65歳以上)が増加して高齢化率は19.0%ですが、金沢区の平均値21.8%、横浜市の平均値19.8%よりは低い数値となっています。
- 世帯については、少人数世帯化の傾向があり、特に高齢者の単身世帯は約190世帯増加して約400世帯となりました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



富岡第二地区

地区の特色

富岡第二地区は、区を中心より北に位置しており、地区の北側に富岡総合公園、東に富岡八幡宮と八幡公園などがあります。交通機関は南北に京急線が走行し、京急富岡駅・能見台駅があります。

また、地区の中央部に国道16号線（横須賀街道）も走っています。地区は東部町内会・中部町内会・南部町内会・富岡シーサイドコーポ町内会と団地とみおか自治会・ツインミューズ富岡自治会で構成されています。また、古くから著名人が数多く来住、別荘文化がありました。なかでも、近代日本画の大家、川合玉堂氏の別邸「二松庵」（横浜市指定有形文化財）や小説家直木三十五の晩年ゆかりの地でもあります。地域文化として、横浜市指定民族無形文化財第1号の富岡八幡宮例大祭「祇園舟」の神事も、7月に行われています。今では、街の賑わいと歴史や自然が融合した、魅力ある生活環境を創りだしています。



7月の祇園舟神事

人口構成等の特徴（平成22年9月現在）

人口：約7,300人

世帯数：約3,400世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 総世帯数は若干増加した一方で、総人口は若干減少しています。
- 人口構成別に見ると、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は共に7～9%程度減少しています。65歳以上の高齢者人口は18.4%増加しました。高齢者単身世帯も増加し、総世帯数の12%を超えました。
【参考】高齢化率 横浜市19.8%、金沢区21.8%、富岡第二地区22.2%

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



富岡第三地区

地区の特色

富岡第三地区は、富岡西二丁目の一部、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目の一部、七丁目からなり、五つの町内会（富岡北部・ひかりが丘・西富岡・富岡西部・富岡桜ヶ丘）で構成されています。地区には公園が多く、花と緑に囲まれた自然豊かな地域です。

南北に京急線が走行し、地区内には京急富岡駅があります。富岡小学校通りは、富岡の街を東西に結ぶ唯一の地区幹線道路で、商店街や施設が立ち並び、生活の主軸としてにぎわいをみせています。また、起伏に富んだ地形の為、地域の要望から「路面バス運行推進委員会」が立ち上がり、平成21年9月、「富岡西循環バス」が走るようになり、外出しやすくなったと好評です。

富岡川せせらぎ緑道は、京急富岡駅から富岡小学校の西側を住宅街に沿って整備され、周辺に残る畑や緑深い山の斜面と調和し、地域の生活に潤いと安らぎをもたらす水辺の小径として親しまれています。平成12年には、「横浜・人・まち・デザイン賞」（まちなみ景観部門）を受賞しました。



人口構成等の特徴（平成22年9月現在）

人口：約10,500人

世帯数：約4,500世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 総人口はほぼ横ばいですが、総世帯数は若干増えています。人口構成別に見ると、65歳以上の高齢者人口が10%近く増加しました。その結果、高齢化率は金沢区の中で最も高い地区となっています。
- 高齢者単身世帯が約80%も増加しました。
【参考】高齢化率 横浜市19.8%、金沢区21.8%、富岡第三地区26.8%

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



富岡西・能見台地区

地区の特色

能見台通の商店街を中心に広がる地域は昭和43年ころから宅地開発された地域です。能見台東地域は工場跡地が平成8年から開発され現在18棟約2,000戸の街になっています。

能見台東地域には能見台地域ケアプラザ、障害者地域活動ホーム、特別養護老人ホーム、高齢者短期入所施設、地区センター、金沢区地域子育て支援拠点といった高齢者、障害者、子どもの施設が多く整備されています。



人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約9,800人

世帯数：約4,300世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 総人口は平成17年からの5年間に約200人増加しました。
- 年少人口(0～14歳)は変わらず、生産年齢人口(15～64歳)が減少傾向にある一方で、高齢者人口(65歳以上)は確実に増加しています。高齢化率は19.4%と、区内21.8%と比較し低い水準にありますが、実数はこの5年間に約300人増加しました。
- 高齢者単身世帯もこの5年間に約300世帯増加し、全体の11.7%に達しています。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



能見台地区

地区の特色

「能見台には青空がよく似合う」

横浜市の地図を眺めれば、市の南部に位置し、標高30メートルから100メートルの高台に閑静な住宅街を形成している。晴れた日には、幼稚園児の遊ぶ声が聞こえ、時には、中学校のブラスバンドの響きも心地よい。

この街が造られてそこそこ40年、街としては新しいが、それでも住民の高齢化は進んできた。しかし、一方で戸建て住宅は新築され、新しいマンションも増えてきた。

若い世代の転入も増えて、地域活動にも新しい風が吹いてきた。老年、熟年、成年が相交わり、青空がよく似合う明るい街造りに期待が膨らむ、そういう街だ。



街並み



能見台中央公園

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約13,700人

世帯数：約5,000世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 世帯数、総人口ともに、この5年間に10%以上増加し、今まさに造られている街である様子が見れて取れます。
- 人口構成別に見ても、全ての年代で増加しています。中でも高齢者人口(65歳以上)は35.8%の増加となっています。
- 高齢化率は15.0%と金沢区で最も低い水準です。ただし、高齢者単身世帯は、この5年間に、267世帯=約2倍も増加しました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の積算したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



金沢シーサイドタウン地区

地区の特色

金沢シーサイドタウン地区は、埋立て地に建てられた集合住宅からなる、南北に長い街です。

整備された道路は歩道と車道の他に自転車道が設けられている所も多く、街路樹のつつじとイチョウが季節を彩り、緑が豊富です。安全と景観に配慮された街並みが特色です。

ふるさと創りを目標にしてきた「サマーフェスタ」は、最終日に花火が打上げられ、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる一大イベントになりました。

開発から30数年が経ち、住民の高齢化が進んでいますが、若い世代の転入もあり、高齢者の支援はもちろんのこと、次の世代にも「住み続けたいと思える街づくり」を目指して、活動に取り組んでいます。



そびえる高層マンション



南北に広がる集合住宅群



つつじとイチョウの街路樹

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約23,200人

世帯数：約9,800世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 総人口は平成17年からの5年間に2.5%減少する一方で、総世帯数は7.0%増加し少人数世帯化の傾向が顕著です。
- 生産年齢人口(15～64歳)が大きく減少する中で、高齢者人口(65歳以上)だけは1.5倍以上増加しました。現在の高齢化率20.7%は、ほぼ横浜市平均であり金沢区の中では比較的低い数値ですが、そのスピードは横浜市や金沢区全体を大きく上回り、急速に高齢化が進んでいることがわかります。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



金沢東部地区

地区の特色

1. 金沢東部地区社会福祉協議会は連合町内会からは独立した組織となっているが、定期的な連絡会などで緊密な意思疎通を図り、地域ぐるみで活発な福祉活動を展開しています。

2. 学校・幼稚園との連携をスムーズに図りながら、子育て支援、青少年支援を機能的に実施しています。

3. 在宅福祉サービス部のコーディネーターが火曜・木曜午前中に谷津坂会館で相談に応じており、ボランティアセンターの役割を果たしています。



荒川和子ライブ



小学生にグランドゴルフを指南・背景はアスレチックアドベンチャーに行列する子ども達

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約11,300人

世帯数：約4,700世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 世帯数は増えていますが、総人口は若干減少傾向にあります。
- 人口構成別に見ると、年少人口(0～14歳)が9.1%の減少、生産年齢人口(15～64歳)は4.9%の減少となる一方、高齢者人口(65歳以上)は15.1%の大幅増加となっています。
- 高齢化率は24.4%と金沢区平均および横浜市平均よりもかなり高い水準に達しています。
- 高齢者単身世帯も、この5年間に、239世帯=68.9%も増加しました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



金沢中部地区

地区の特色

金沢区のほぼ中央に位置する金沢中部地区は、京浜急行線と国道16号線に沿う形で広がっています。地区内には、金沢区の主要駅である「金沢文庫駅」があり、区内交通の結節点となっています。

駅を中心とした商店街等に代表される賑わいのある地域、静かな住宅地、大規模なマンション・団地等、様々な地域が共存しています。



ふれあい文化祭

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約11,300人

世帯数：約5,200世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 世帯数、総人口ともに、この5年間に、若干増加傾向から減少に転じました。
- 人口構成別に見ると、年少人口(0～14歳)が7.6%減少、生産年齢人口(15～64歳)が10.9%減少となり、高齢者人口(65歳以上)が16.6%の増加となっています。
- 高齢化率は20.8%と金沢区平均より若干低い水準で推移しています。ただし、高齢者単身世帯は、この5年間に、265世帯=78.9%も増加しました。

人口及び世帯数については、今回の計画策定にあたり地域の状況を把握するための参考データとして町・丁目単位に積算したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。



金沢南部地区

地区の特色

京浜急行金沢文庫駅から海の公園、八景島方面へかけてのエリアです。

昭和5年に京浜急行(当時の湘南電気鉄道)の金沢文庫駅が設置されたことにより昭和6～7年頃より人口の増加が始まり、昭和15～16年の戦時中に軍並びに軍需産業従事者の流入により急速に開発が進みました。

地域内には文庫小学校があり、縄文時代の称名寺貝塚から始まる昔からの土地柄から称名寺をはじめ寺院・神社等が多く、横浜市内で数少ない漁港である柴漁港をかかえ、歴史的・文化的にも由緒ある地域です。



柴漁港

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約14,300人

世帯数：約6,400世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 世帯数は増えていますが、総人口は減少しています。
- 人口構成で見ると、年少人口(0～14歳)や生産年齢人口(15～64歳)は減少、高齢者人口(65歳以上)は増加となっています。
- 高齢化率は18.7%と金沢区平均および横浜市平均よりも低い水準にありますが、急激に増加しています。特に高齢者単身世帯数は、この5年間で約340世帯(95.4%)も増加しています。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



金沢地区

地区の特色

金沢地区は、京急金沢文庫駅の南東に平潟湾を囲むように位置します。町屋町、平潟町、洲崎町、乙舳町、野島町と泥亀及び大川町の一部から構成され、15の自治会町内会が所属しています。

江戸期に平潟湾の大規模な埋め立てが行われ、水田(蓮田)や塩田等として利用されていました。

現在は、いわゆる金沢八景の「平潟落雁(ひらかたのらくがん)」「洲崎晴嵐(すさきのせいらん)」「乙舳帰帆(おっとものきはん)」「野島夕照(のじまのせきしょう)」の地としても知られ、古い市街地と、新しいマンション群が混在する地区となっています。



旧伊藤博文金沢別邸

人口構成等の特徴(平成22年9月現在)

人口: 約12,200人

世帯数: 約6,000世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 世帯数は横ばいですが、総人口は若干減少しています。
- 人口構成別に見ると、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)が減少しています。
- 高齢者は、若干増加傾向にあります。
- 特に高齢者単身世帯は、この5年間に、349世帯が増加し約1.6倍になりました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱ってください。



六浦東地区

地区の特色

侍従川の南、横須賀市に隣接して位置する六浦東地区は、北東に平潟湾を望み、対岸の野島町とを結ぶ夕照橋は景観の美しいことで知られています。

この一帯は、江戸時代以降に平潟湾を埋め立てて造成された土地で、江戸時代の地区には「室の木」「瀬ヶ崎」「高谷」「内川」などの地名が記され、これらの地名は今も身近な生活の場で使われています。古い町と山を造成した新しい町とが融合している地区で、防災に力を入れています。

また文教施設の関東学院大学の幼・小・中・大学は防災と教育等で地域と密接な協力関係にあります。



瀬ヶ崎小学校拠点防災訓練

人口構成等の特徴(平成22年9月現在)

人口: 約6,800人

世帯数: 約3,100世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 人口については、高齢者人口(65歳以上)が増加して高齢化率は21.9%です。(金沢区平均21.8%、横浜市平均19.8%)年少人口(0～14歳)の減少が目立ちますが、最近是新築住宅等が増えて少し持ち直しつつあります。
- 世帯については、少人数世帯化の傾向があり、特に高齢者の単身世帯は約190世帯増加して約450世帯となりました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱ってください。



六浦地区

地区の特色

金沢区の南に位置する六浦地区は、鎌倉時代に源頼朝が勧請した瀬戸神社があります。東照宮を祭る権現山や、六浦小学校の校歌にも歌われるお伊勢山、また、金沢八景の一つである平潟湾が紺碧に輝き、湾を跨いでシーサイドラインが走るなど、美しい自然に恵まれた地区です。

穏やかな地域で、子どもから高齢者まで、世代間の交流を大切にしています。少子高齢化が進んでいますが、地域の活動を支えてくださる元気な高齢者もたくさんいます。

“継続は力なり”を合言葉に、活動は毎年地道にくり返しながらかつ実を収めています。今後は“向こう三軒両隣り”みんなが知った顔になることを目指していきます。



風光明媚な平潟湾から見た六浦地区



小学生と一緒に給食を食べる楽しいひととき

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約11,800人

世帯数：約5,500世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- この5年間に、総人口は若干減少し、総世帯数も増加から横ばいに転じました。
- 人口構成別に見ると、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)はそれぞれ約2%と約8%の減少、高齢者人口(65歳以上)は14%を超える増加となっています。
- 高齢化率は22.8%に達し、高齢者単身世帯は、この5年間に、257世帯＝60.9%も増加しました。

【参考】 高齢化率 横浜市19.8%、金沢区21.8%、六浦地区22.8%

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱ください。



六浦西地区

地区の特色

*金沢区の南西に位置し、横須賀市・鎌倉市・逗子市・栄区と接しています。

*鎌倉幕府によって切り開かれた朝比奈切り通しなどの史跡が点在する地域であり、丘陵地に囲まれた旧道や侍従川を中心に発展してきました。

*当地区は起伏に富んだ広い地域に19の自治会・町内会があります。

*自治会・町内会加入世帯数で大きいところは1,952世帯、小さいところは66世帯と単位の差が、非常に大きい地域です。世帯数では約30倍の差があります。



侍従川の清掃

人口構成等の特徴 (平成22年9月現在)

人口：約29,600人

世帯数：約13,100世帯

<平成17年9月—平成22年9月の推移>

- 人口については、高齢者人口(65歳以上)が増加して高齢化率は26.0%となり、金沢区の平均値21.8%、横浜市の平均値19.8%より高い数値となっています。
- 世帯については、少人数世帯化の傾向があり、特に高齢者の単身世帯は約850世帯増加して約1,800世帯となりました。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱ください。



釜利谷地区

地区の特色

金沢区の西側に位置し、三方を丘陵に囲まれ、かつては六国峠ハイキングコースとして、鎌倉天園迄ハイカーを楽しませたものです。現在、その面影は、当時が偲ばれる程度、僅かながら残されておりま。



各所に歴史遺産が点在していますが、鎌倉時代中期、金沢北条氏は、鎌倉古道(朝比奈峠～白山道～坂本～宿～赤井の釜利谷各村道)を経て北条館へ往来したとされています。また、金沢八景の一つとして「小泉(こずみの)夜雨(やう)」が有名ですが、選ばれた昔日の場所は、すばらしい景勝の地にありました。そこに祀られていた弁財天は、今、手子神社に移されています。釜利谷を流れる宮川の河口に瀬戸橋が架けられて(1300年前期)金沢が発展し、釜利谷も宮川の船便で商売が出来たと伝えられています。釜利谷地区は、釜利谷東1～8丁目、釜利谷南1～4丁目、釜利谷西1～6丁目構成され、主に16の自治会・町内会が親切・思いやりを基本に自然豊かな明るい地域づくりを目指しています。地区内には小学校5校、中学校3校、高校や関東学院大学のキャンパスもあり、金沢自然公園、関ヶ谷市民の森、緑道や小川アメニティ通りがあり豊かな生活環境や景観に恵まれたまちです。

人口構成等の特徴(平成22年9月現在)

人口：約32,600人

世帯数：約13,800世帯

<平成17年9月～平成22年9月の推移>

- 世帯数は増えていますが、総人口は約3%減少しています。
- 人口構成別は、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)は合わせて17.3%減少しています。高齢者単身世帯は約840世帯増え、総世帯の11.6%となりました。
- 高齢化率は23.7%と金沢区平均(21.8%)及び横浜市平均(19.8%)を超えています。

人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。



アンケート調査結果

(1)調査趣旨

第2期金沢区地域福祉保健計画策定の基礎資料とするため、区内の福祉保健に関する団体等に対し、地域福祉保健の現状認識と将来的なニーズ把握のためにアンケート調査を実施しました。

金沢区役所区政推進課で実施する区民意識調査の中に、地域福祉保健計画に関する項目を組み込んで実施しました。

(2)調査方法

【地域の福祉保健活動に関するアンケート】

①民生委員・児童委員、保健活動推進員

- 対象者：民生委員・児童委員=266名
保健活動推進員=287名
合計=553名
- 調査期間：平成21年11月上旬～11月下旬
- 発送方法：郵送による発送、郵送による回収
- 回答総数：民生委員・児童委員=180(回答率=67.67%)
保健活動推進員=153(回答率=53.31%)
合計=333(回答率=60.22%)

②関係団体代表者

- 対象者：関係団体の代表者=233名
- 調査期間：平成21年11月中旬～12月上旬
- 発送方法：郵送による発送、郵送による回収
- 回答総数：126(回答率=54.08%)

【金沢区民意識調査2009】

- 対象者：区民3,000名を無作為抽出
- 調査期間：平成21年10月下旬～11月下旬
- 発送方法：郵送による発送、郵送による回収
- 回答総数：1,748(回答率=58.27%)

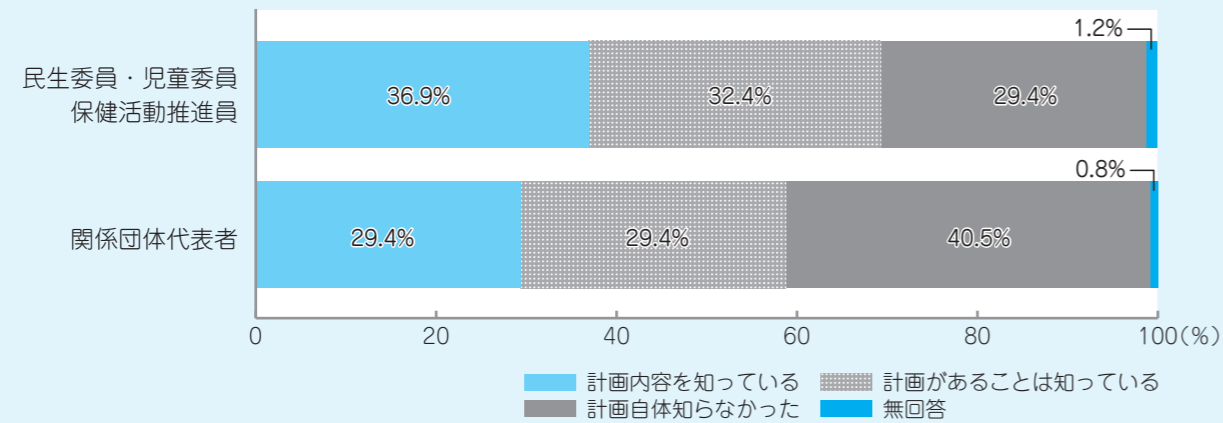
参考<区民アンケート2005>

- 対象者：区民3,500名を無作為抽出
- 調査期間：平成17年6月下旬～7月中旬
- 発送方法：郵送による発送、郵送による回収
- 回答総数：1,574(回答率=44.97%)

地域の福祉保健活動に関するアンケート

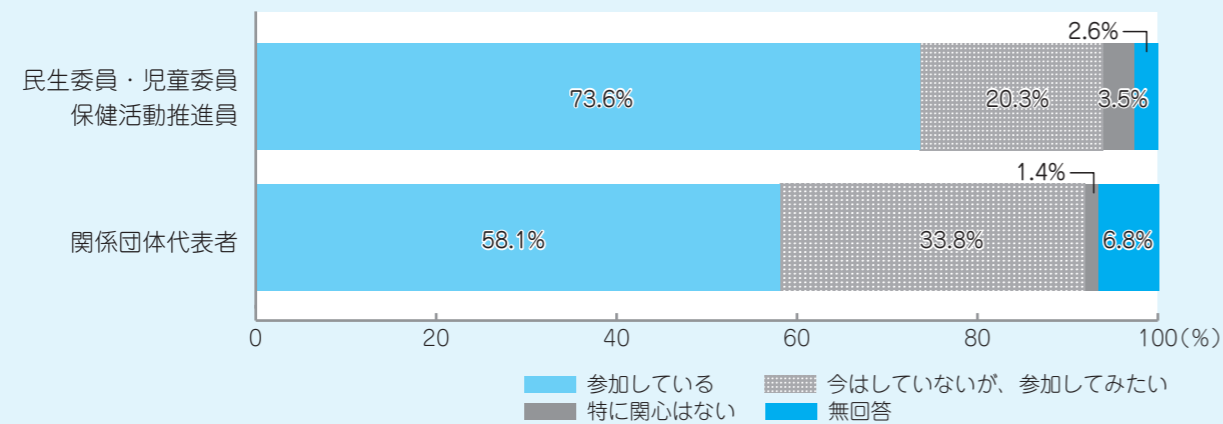
「民生委員・児童委員、保健活動推進員」と「関係団体代表者」の回答比較

問① 金沢区地域福祉保健計画をご存じでしたか。



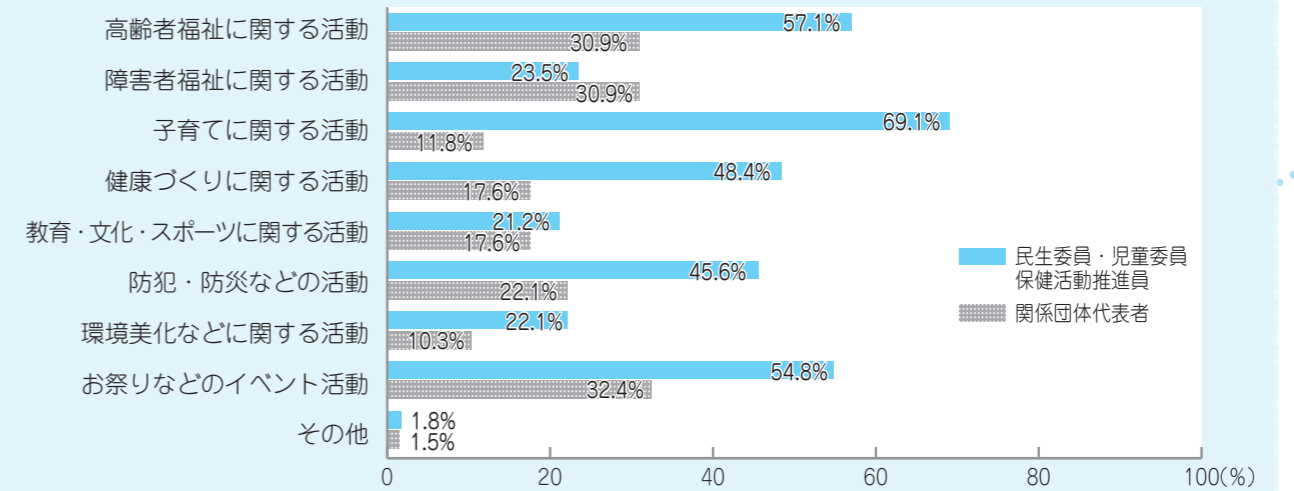
・計画の認知度は、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方が高くなっています。

問② 地域福祉保健計画の取組に参加していますか。(問①で知っていると答えた方)



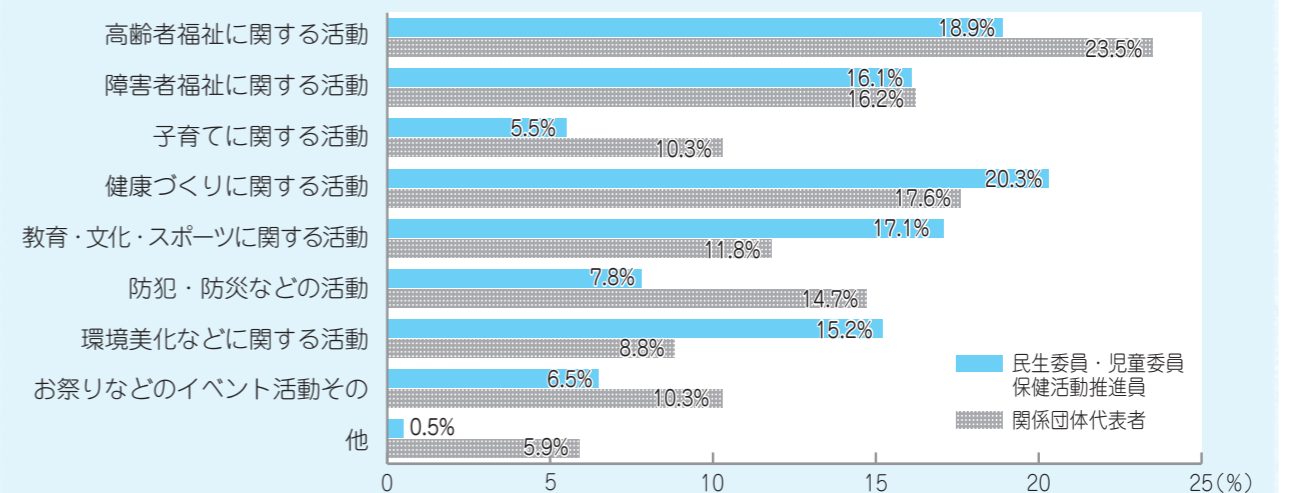
・取組の参加率は、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方が高くなっています。
 ・「今はしていないが、参加してみたい」との回答も含めると、民生委員・児童委員、保健活動推進員と関係団体代表者共に9割を超え、計画への関心が高いことがうかがえます。

問③ どのような取組に参加していますか。(問②で参加していると答えた方、複数回答)



・「子育て」については、民生委員・児童委員、保健活動推進員が突出して高くなっています。
 ・「障害者福祉」については、関係団体代表者の方が高くなっていますが、それ以外の活動においては民生委員・児童委員、保健活動推進員の方が高くなっています。

問④ どのような取組に参加してみたいですか。(問②で参加してみたいと答えた方、複数回答)



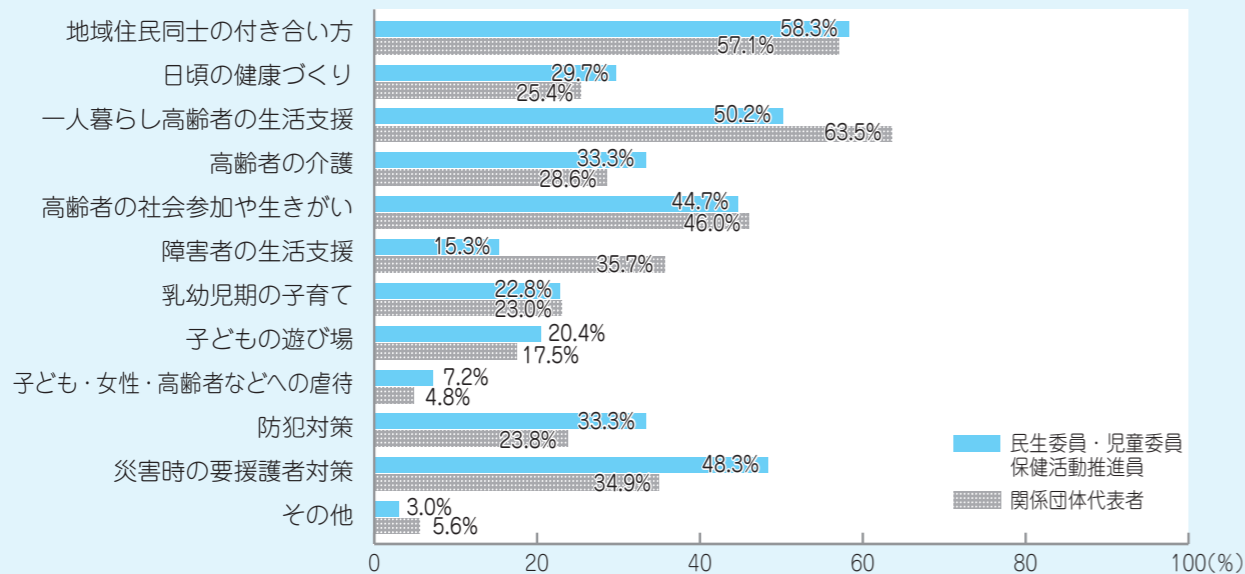
・「健康づくり」「教育・文化・スポーツ」「環境美化」については、民生委員・児童委員、保健活動推進員が高くなっています。

「金沢区民意識調査2009」

金沢区民意識調査2009と区民アンケート2005の類似の設問による回答の比較を行いました

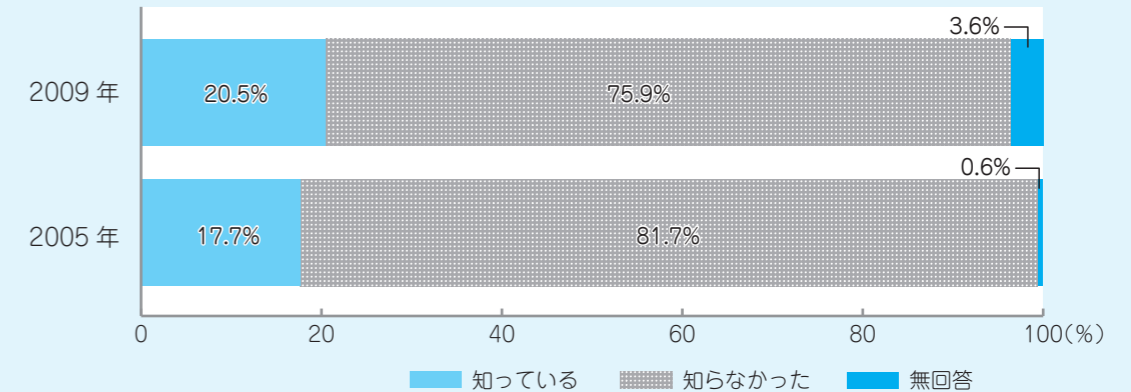
問⑤ 地域にはどのような課題や問題があると感じていますか。(5つまで回答)

*暮らしやすい環境づくりについて、関係団体代表者には高齢者と障害者を合わせた選択肢となっており、民生委員・児童委員、保健活動推進員には高齢者と障害者を分けた選択肢となっているため、この選択肢については比較しなかった。



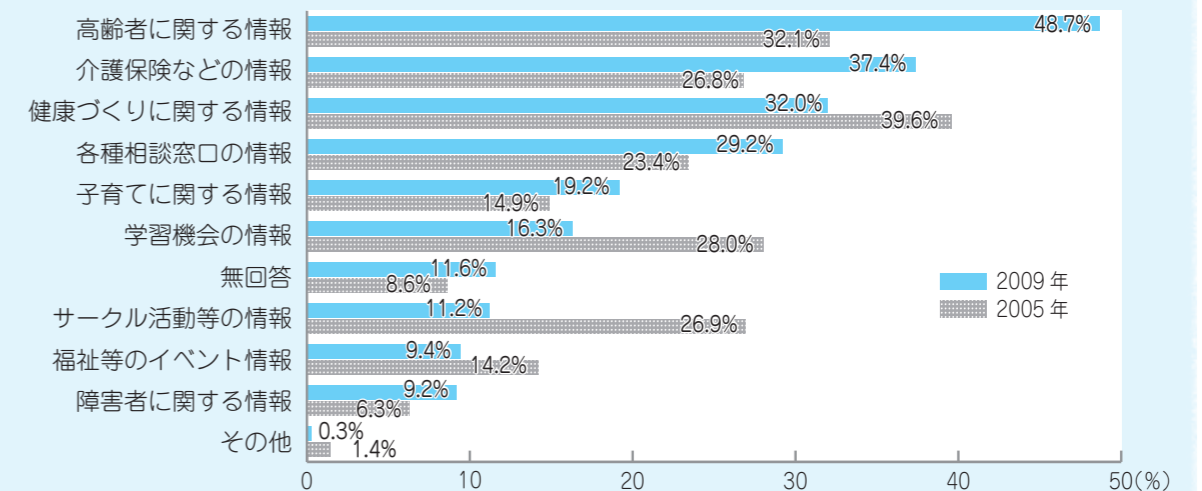
- ・「防犯対策」「災害時の要援護者対策」については、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方が高くなっていますが、「一人暮らし高齢者の生活支援」「障害者の生活支援」については、関係団体代表者の方が高くなっています。
- ・それ以外の項目については、民生委員・児童委員、保健活動推進員と関係団体代表者ではほぼ同等に問題意識を持っていることがうかがえます。

問① 金沢区地域福祉保健計画をご存じでしたか



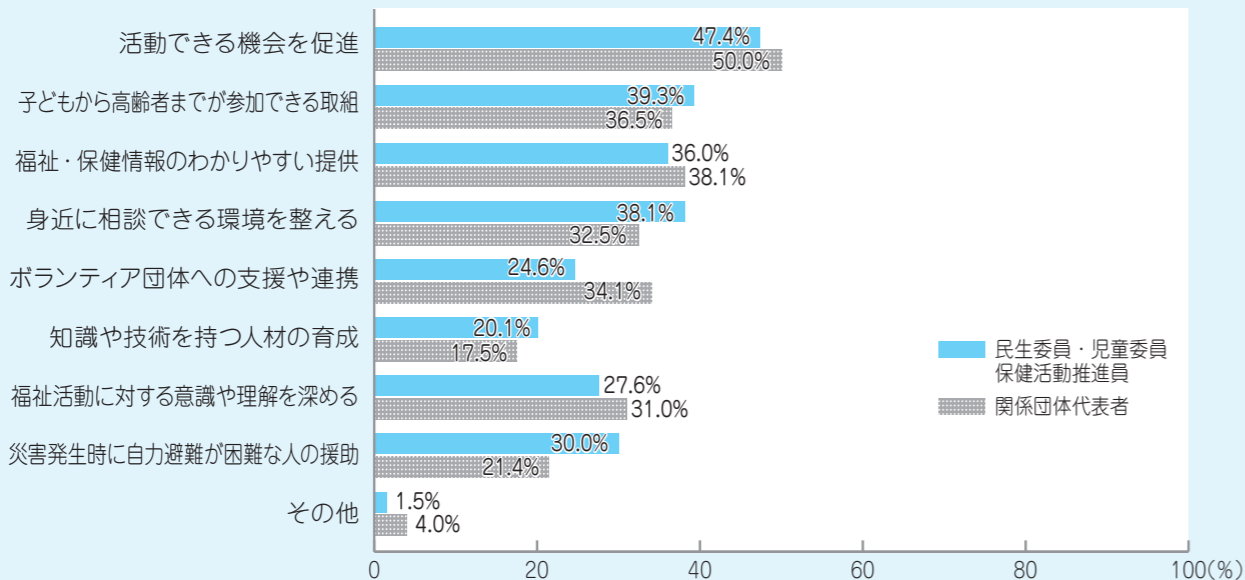
- ・この4年間で知っていると答えた方は若干増加し、知らなかったと答えた方が若干減少しています。

問② 福祉や保健に関して知りたいと思う情報(3つまで回答)



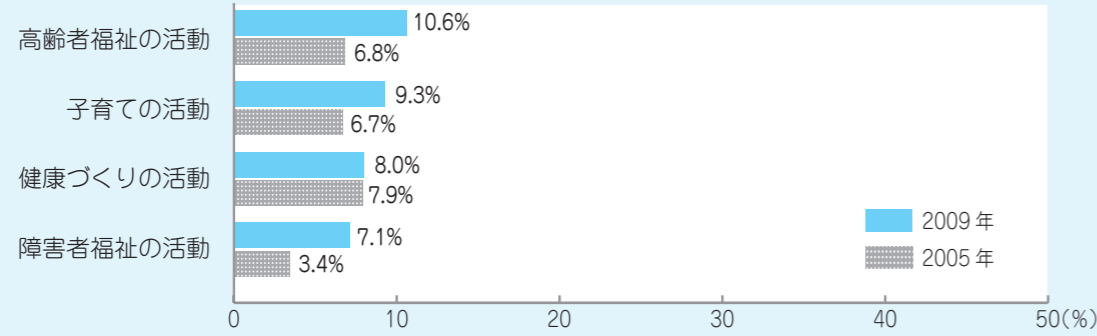
- ・この4年間で「高齢者に関する情報」が約16%増加し、最も高くなっています。
- ・次いで、「介護保険などの情報」が増加しています。
- ・「健康づくりに関する情報」「福祉等のイベント情報」は若干減少しています。
- ・「サークル活動等の情報」「学習機会の情報」は大幅に減少しています。

問⑥ 地域の支えあいを推進していくために、どのようなことが重要ですか。(3つまで回答)



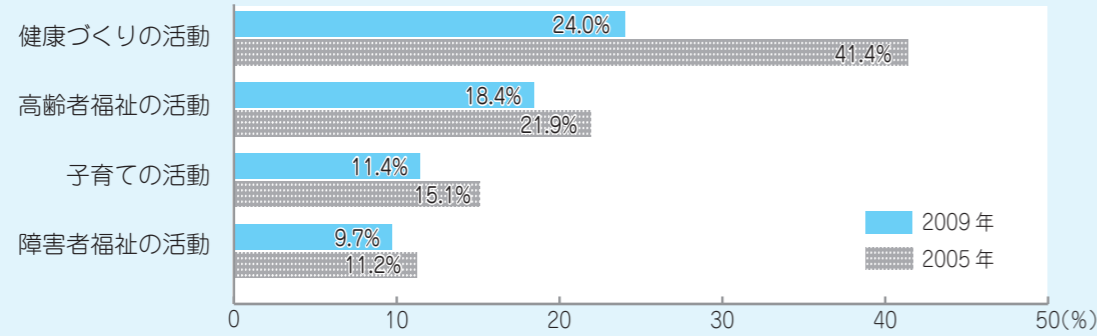
- ・「活動できる機会を促進」については、民生委員・児童委員、保健活動推進員と関係団体代表者ともに上位となっています。
- ・際立って突出した回答はなく、それぞれ重要であると感じていることがうかがえます。

問③ 地域活動やボランティア活動について **参加したことがある活動**



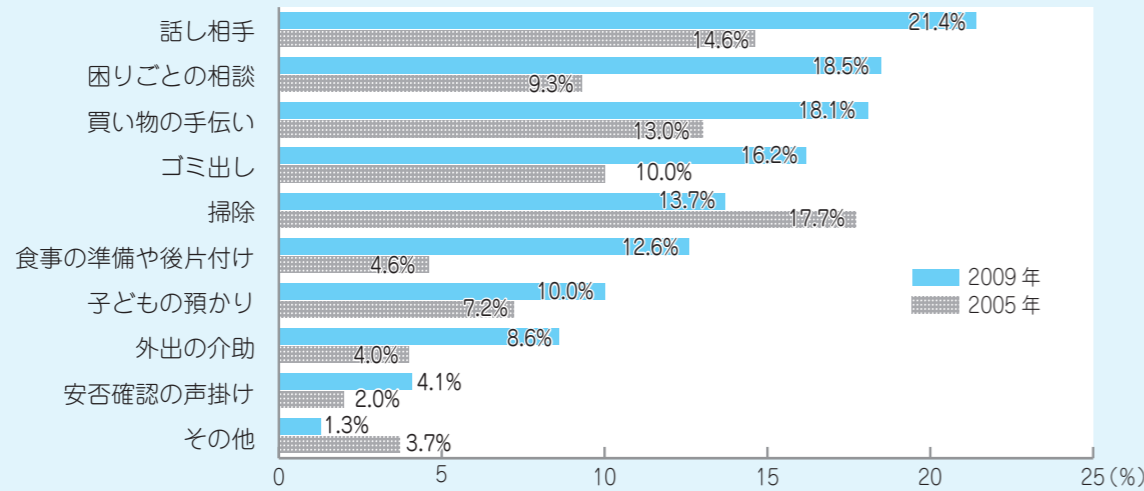
- ・この4年間で、全ての活動において増加しています。
- ・中でも、「障害者福祉の活動」については、ほぼ倍増しています。

今後やりたい活動



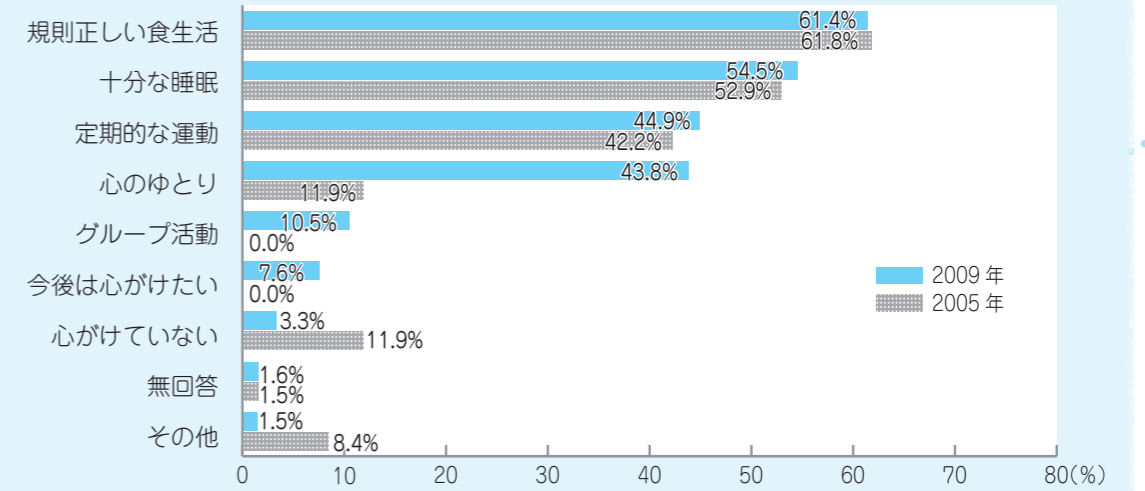
- ・この4年間で、全ての活動において減少しています。
- ・中でも「健康づくりの活動」については大幅に減少しています。

問④ 地域やご近所での助け合いについて **助けたことがある、助けられたことがある**



- ・この4年間で、ほぼ全ての項目において「助けたことがある」「助けられたことがある」と答えた方が増加しています。
- ・中でも、「困りごとの相談」「食事の準備や後片付け」「外出の介助」については、倍増以上となっています。

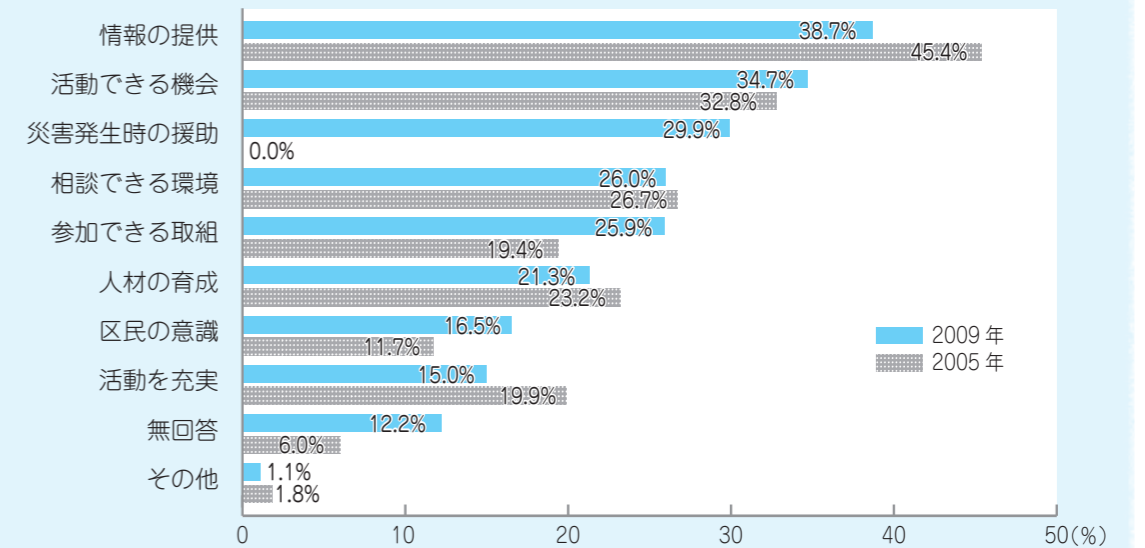
問⑤ 日頃から健康のために心がけていること（複数回答）



※区民アンケート2005については、「グループ活動」「今後は心がけたい」の選択肢がないため、比率は0%となっています。

- ・多くの方が食事、睡眠、運動などを心がけていることがうかがえます。
- ・中でも「心のゆとり」について心がけている方がほぼ4倍に増加しています。

問⑥ 地域の支えあいの推進のために重要だと思うこと（3つまで回答）



※区民アンケート2005については、「災害発生時の援助」の選択肢がないため、比率は0%となっています。

- ・「情報の提供」については、4年前も現在も最上位となっています。
- ・それぞれ4年前と比較して、重要だと感じている割合はほぼ同等です。

金沢区地域福祉保健推進会議委員名簿

(平成21～22年度)

No.	氏名	所属等	備考
1	浅井 恵美子	金沢区民生委員児童委員協議会会長	
2	泉 新一郎	介護老人保健施設こもれび施設長	～平成22年5月31日
3	伊藤 昌夫	金沢区歯科医師会会長	
4	岩田 幸子	金沢区主任児童委員連絡会代表	平成22年6月1日～
5	岩船 弘吉	金沢区老人クラブ連合会会長	
6	大川 登	金沢区生活衛生協議会会長	平成22年6月1日～
7	大澤 章子	金沢区ボランティア連絡協議会会長	～平成22年5月31日
8	岡田 浩	金沢区保健活動推進員会会長	副会長
9	小田 兵馬	社団法人金沢区三師会会長(金沢区薬剤師会会長)	
10	鈴木 祥乃	金沢区生活衛生協議会会長	～平成22年5月31日
11	炭竈 美枝	横浜市泥亀地域ケアプラザ所長	
12	関根 とみ江	金沢区主任児童委員連絡会代表	～平成22年5月31日
13	田邊 好光	金沢区食品衛生協会会長	
14	田町 誓一	介護老人保健施設こもれび施設長	平成22年6月1日～
15	蜂谷 将史	横浜南共済病院院長	
16	濱見 米子	金沢区食生活等改善推進員会会長	
17	布施 正昭	特別養護老人ホーム若草ホーム施設長	
18	増田 一行	金沢区社会福祉協議会会長	副会長
19	山口 茂光	金沢区医師会会長	会長
20	山元 壱郎	金沢区獣医師会会長	～平成22年5月31日
21	山本 貴浩	金沢区獣医師会会長	平成22年6月1日～
22	横井 正巳	金沢区町内会連合会会長	
23	吉田 拓郎	金沢の精神保健福祉を考え推進する会理事長	
24	若栗 恭子	金沢区で暮らす障害児者の将来を考える会代表	～平成22年5月31日
25	石井 洋一	金沢区長	～平成22年3月31日
26	橋本 康正	金沢区長	平成22年4月1日～
27	水野 哲宏	金沢区福祉保健センター長	～平成22年3月31日
28	田畑 和夫	金沢区福祉保健センター長	平成22年4月1日～

(区職員以外五十音順・敬称略)

金沢区地域福祉保健推進会議・ 地域福祉保健計画推進部会委員名簿

(平成21～22年度)

No.	氏名	所属等	備考
1	相川 眞久	金沢区民生委員児童委員協議会副会長	
2	岩崎 建一郎	六浦東地区社会福祉協議会会長	
3	遠藤 千秋	横浜市並木地域ケアプラザ所長	平成22年6月4日～
4	桐原 重孝	公募委員	
5	清水 啓作	公募委員	副部会長
6	下荒磯 孝司	横浜市並木地域ケアプラザ所長	～平成22年6月3日
7	新明 右康	社団法人金沢区三師会総合事務局事務長	
8	鈴木 慎也	金沢福祉センター所長	
9	高橋 桃代	公募委員	
10	安井 恵子	金沢区保健活動推進員会副会長	
11	山口 稔	関東学院大学文学部教授	部会長

(五十音順・敬称略)

